

各学位プログラムの人材養成目的、修了後の進路等

人文社会ビジネス科学学術院

人文社会科学研究群

人文学（前期）	・・・ 3
国際公共政策（前期）	・・・ 3
国際日本研究（前期）	・・・ 3
人文学（後期）	・・・ 4
国際公共政策（後期）	・・・ 4
国際日本研究（後期）	・・・ 4

ビジネス科学研究群

法学（前期）	・・・ 5
経営学（前期）	・・・ 5
法学（後期）	・・・ 5
経営学（後期）	・・・ 5
法曹専攻（専門職）	・・・ 6
国際経営プロフェSSIONAL専攻（専門職）	・・・ 7

理工情報生命学術院

数理物質科学研究群

数学（前期）	・・・ 8
物理学（前期）	・・・ 8
化学（前期）	・・・ 8
応用理工学（前期）	・・・ 9
国際マテリアルズイノベーション(前期)	・・・ 9
数学（後期）	・・・ 9
物理学（後期）	・・・ 10
化学（後期）	・・・ 10
応用理工学（後期）	・・・ 11
国際マテリアルズイノベーション(後期)	・・・ 11

システム情報工学研究群

社会工学（前期）	・・・ 12
サービス工学（前期）	・・・ 12
リスク・レジリエンス工学（前期）	・・・ 13
情報理工（前期）	・・・ 13
知能機能システム（前期）	・・・ 13
構造エネルギー工学（前期）	・・・ 14
エンパワーメント情報学（5年一貫）	・・・ 14
ライフイノベーション生物情報（前期）	・・・ 14

社会工学（後期）	・・・ 15
リスク・レジリエンス工学（後期）	・・・ 15
情報理工（後期）	・・・ 16
知能機能システム（後期）	・・・ 16
構造エネルギー工学（後期）	・・・ 16
ライフイノベーション生物情報（後期）	・・・ 17

生命地球科学研究群

生物学（前期）	・・・ 18
生物資源科学（前期）	・・・ 18
地球科学（前期）	・・・ 18
環境科学（前期）	・・・ 19
山岳科学（前期）	・・・ 19
ライフイノベーション食料革新（前期）	・・・ 20
ライフイノベーション環境制御（前期）	・・・ 20
ライフイノベーション生体分子材料（前期）	・・・ 21
生物学（後期）	・・・ 21
農学（後期）	・・・ 21
生命農学（後期）	・・・ 22
生命産業科学(後期)	・・・ 22
地球科学（後期）	・・・ 22
環境学（後期）	・・・ 23
ライフイノベーション食料革新（後期）	・・・ 23
ライフイノベーション環境制御（後期）	・・・ 24
ライフイノベーション生体分子材料（後期）	・・・ 24
国際連携持続環境科学専攻（前期）	・・・ 25

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群

教育学（前期）	・・・	26
心理学（前期）	・・・	26
障害科学（前期）	・・・	27
カウンセリング（前期）	・・・	27
リハビリテーション科学（前期）	・・・	27
フロンティア医科学（修士）	・・・	28
公衆衛生学（修士）	・・・	28
ニューロサイエンス（前期）	・・・	28
看護科学（前期）	・・・	29
体育学（前期）	・・・	29
スポーツ・オリンピック学（前期）	・・・	29
スポーツウエルネス学（前期）	・・・	30
芸術学（前期）	・・・	30
デザイン学（前期）	・・・	30
世界遺産学（前期）	・・・	31
医学（医学の課程4年）	・・・	31
情報学（前期）	・・・	31
ヒューマンバイオロジー（5年一貫）	・・・	32
ライフイノベーション病態機構（前期）	・・・	32
ライフイノベーション創薬開発（前期）	・・・	33
教育学（後期）	・・・	33
心理学（後期）	・・・	34
障害科学（後期）	・・・	34
カウンセリング科学（後期）	・・・	35
リハビリテーション科学（後期）	・・・	35
ヒューマン・ケア科学（3年博士）	・・・	35
パブリックヘルス（3年博士）	・・・	36
ニューロサイエンス（後期）	・・・	36
スポーツ医学（3年博士）	・・・	36
看護科学（後期）	・・・	37
体育科学（後期）	・・・	37
コーチング学（3年博士）	・・・	37
スポーツウエルネス学（後期）	・・・	38
芸術学（後期）	・・・	38
デザイン学（後期）	・・・	38
世界遺産学（後期）	・・・	39
情報学（後期）	・・・	39

ライフイノベーション病態機構（後期）	・・・	39
ライフイノベーション創薬開発（後期）	・・・	40
大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年博士）	・・・	41
スポーツ国際開発学共同専攻（修士）	・・・	42
国際連携食料健康科学専攻（修士）	・・・	43

人文社会ビジネス科学学術院

【人文社会科学研究群】

■人文学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(文学) [Master of Arts in Literature]
人材養成目的	人文学の研究・教育を取り巻く環境の変化及びグローバル化に伴う社会の変化に対応するため、哲学、倫理学、宗教学、歴史学、人類学、文学、言語学、文化学、英語教育学などの人文学諸分野における優れた専門的知識を身に付けると共に、地球規模の新たな問題の発見と解決をめざし、専門の異なる人々と共同して問題解決に貢献できる研究能力及び教育能力を兼ね備えた研究者、大学教員となる博士後期課程への進学を目指す者を養成する。
養成する人材像	人文学諸分野に関する専門的知識のみならず関連する分野に関する知識も身につけ、学際的なアプローチにより研究課題に取り組む、高い研究能力を有するとともに、現代の諸問題を解決するための広い視野を有し、そのような研究成果を社会に還元することのできる人材。
修了後の進路	博士後期課程への進学。それ以外に、中学校・高等学校教員、官公庁・自治体職員、博物館学芸員、学術出版業、教育関連会社、NGO・NPO など。

■国際公共政策学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(国際公共政策) [Master of Arts in International Public Policy]
人材養成目的	国際関係論や地域研究、社会学、政治学、経済学、人類学、公共政策学など国際公共政策に関わる各分野の高度の専門性と、それらを横断する学際性を備えた教育と研究指導を通じて、専門知識を基盤とし、グローバル化、複雑化する現代の国際問題や個別地域の諸問題、また社会・文化問題へと柔軟に適用できる研究能力と、それらを公共政策へと導く実践的問題解決能力を身につけた大学教員、研究者等となる博士後期課程への進学を目指す者を養成する。
養成する人材像	国際公共政策に関わる各分野に関する専門知識を生かし、理論・実証に関わる論理的思考力・分析力に基づいた高度な研究能力を踏まえ、国内外の政治経済や社会政策上の諸問題、また個別地域や国際関係に関わる諸問題に関し、公共政策へと結びつける観点から問題解決能力・実践的能力を有する人材。有職社会人向けの公共経営履修モデルについては、以上の能力に加え、経営学の専門知識および論理的に深く思考する能力やその内容を論理的に構成するための能力も併せ持つ人材。
修了後の進路	博士後期課程への進学。それ以外に、官公庁・自治体職員、国際機関職員、金融機関やメディア等の民間企業、NGO・NPO など、研究力を生かした職業人。有職社会人向けの公共経営履修モデルについては、有職者の一部は、博士後期課程への進学や転職をすることが考えられる。

■国際日本研究学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(国際日本研究) [Master of Arts in International and Advanced Japanese Studies]
人材養成目的	日本は非西洋社会のなかではいち早く産業化をなしとげ、第二次世界大戦後のベビーブームが世界の主要国のなかで最も早く終わって高度成長を遂げたが、90年代以降は少子高齢化が最も深刻な課題先進国となった。このような日本の経験に基づく学問的知見は今後の日本のみならず世界のあるべき姿を模索するうえで意義深いものであろう。本学位プログラムは、日本のこのような立ち位置をふまえ、グローバル化する現代社会の中で、日本や世界が直面するさまざまな問題に正面から取り組むことのできる研究者(基礎レベル)を養成する。国際的・学際的・比較的な視野のもとに日本の文化・社会について人文科学、社会科学、日本語教育学にかかわる研究及び教育能力を有し、その成果を広く国内のみならず海外にも発信していける研究者(基礎レベル)を養成する。また、人文科学、社会科学、日本語教育学の各分野の専門的かつ国際的な学識を備え、世界で活躍する人材を養成する。
養成する人材像	グローバルな視点から現代日本の特質を解明するために幅広い専門的知識と俯瞰的なものの見方を身に付け、そのための基礎的な素養を修得するとともに、幅広い関連領域を学修することを通して、研究職をめざして後期課程に進学しうる能力のある人材。
修了後の進路	博士後期課程への進学。それ以外に、国際関係組織、日本語教育機関、情報メディア産業、日本やアジアをマーケットとする製造業や商社、金融機関などの民間企業。

■人文学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(文学) [Doctor of Philosophy in Literature]
人材養成目的	人文学の研究・教育を取り巻く環境の変化及びグローバル化に伴う社会の変化に対応するため、哲学、倫理学、宗教学、歴史学、人類学、文学、言語学、文化学、英語教育学などの人文学諸分野における国際的レベルの高度な研究・教育能力を有すると共に、地球規模の新たな問題の発見と解決をめざし、領域横断的な研究を遂行し、学際的な研究・教育に従事できる大学教員、研究者等を養成する。
養成する人材像	人文学諸分野に関する高度な専門的知識を身につけ、独創的な研究を自立して遂行する能力を有し、現代の諸問題を解決するための広い視野を有する人材。
修了後の進路	研究職・教育職(大学等の教員、研究所の研究員)。それ以外に、官公庁・自治体職員、国際機関職員、博物館学芸員、学術出版業、教育関連会社、NGO・NPO など。

■国際公共政策学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(国際公共政策) [Doctor of Philosophy in International Public Policy]
人材養成目的	国際関係論や地域研究、社会学、政治学、経済学、人類学、公共政策学など国際公共政策に関わる各分野のディシプリンに基づく高度の研究能力を基礎としながら、複数の分野を横断した俯瞰的・学際的視野をもって、国際問題、国内外の政治経済、社会問題等の本質を理解・分析することによって、変化する諸課題に対する問題解決・政策提言能力を備え、グローバルオピニオンを形成できる大学教員、研究者等を養成する。
養成する人材像	国際公共政策に関わる専門知識や、理論・実証に関わる論理的思考力・分析力に基づいた国際水準の研究能力および、国内外の政治経済や社会政策上の諸問題、または個別の地域や国際関係の諸問題に関する政策分析・立案・実施に資する高度の実践的能力を有する人材。
修了後の進路	社会科学・国際関係の研究職・教育職(大学等の教員、研究所の研究員)。それ以外に、官公庁・自治体職員、国際機関職員、金融機関やメディア等の民間企業、NGO・NPO など、高度な研究力を生かした職業人。

■国際日本研究学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(国際日本研究) [Doctor of Philosophy in International and Advanced Japanese Studies]
人材養成目的	グローバル化する社会の中で、国際的・比較的な視野のもとに日本の文化・社会について人文科学、社会科学、日本語教育学に跨がる研究及び教育能力を有し、その成果を広く国内のみならず海外にも発信していける研究者・教育者並びに人文科学、社会科学兩分野、日本語教育学の各分野の専門的かつ国際的な学識を備え、世界で活躍する大学教員、研究者等を養成する。
養成する人材像	グローバルな視点から現代日本の特質を解明するために幅広い専門的知識と俯瞰的なものの見方を身に付け、そのための基礎的な素養の修得と、幅広い関連領域を学修し、高度専門職、研究職を担いうる能力のある人材。また日本語教育に関しては、国際的な研究・教育領域を掘り下げて研究できる能力、また日本語教育に関する専門的な学識を世界に向けて発信する研究能力、教育能力、高度な専門能力のある人材。
修了後の進路	研究職・教育職(大学・研究所・民間シンクタンクなど各種研究機関)。それ以外に、企業(海外に現地法人を持つ日本企業・商社、外国企業等)、官公庁・自治体職員、国際公務員、日本語教育機関、国際関係組織・メディア関係など。進路は日本だけでなく、広く海外(シンガポール、ベトナム、中央アジア、南米、中国、タイ、韓国、台湾、等)にも開かれている。

【ビジネス科学研究群】

■法学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(法学) [Master of Laws]
人材養成目的	企業法学の分野における人材需要に応じて、現代社会において企業が直面する法的諸問題について適切な解決策を提示できる法学的専門能力を有する高度専門職業人の育成・再教育を目的とする。
養成する人材像	企業において一定の実務経験を有し、現代社会において生じる多様な諸問題を法学的専門知識と法的思考方法によって解決することができる、高度専門職業人を育成する。
修了後の進路	学生の大部分については、在学中から民間会社・官公庁・弁護士事務所・会計事務所等に勤務しているか、弁護士・公認会計士・税理士等として開業していると思われるが、学位取得後に大学等の高等教育機関の教員となる者も一定数いるものと想定される。

■経営学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(経営学) [Master of Business Administration]
人材養成目的	ビジネスの変革、技術の複雑化に伴う新たな経営課題に対応可能な高度専門職業人の養成を目的とする。
養成する人材像	修士(経営学)の学位に相応しい専門知識、および論理的に深く思考する能力やその内容を論理的に構成するための能力を有する人材を育成する。具体的には、ビジネス上の問題を発見する能力、研究とビジネスを融合する能力を持ち、自ら積極的に解を探求し専門領域を超えて幅広い関心を持つことができる人材、ビジネスに根差した問題意識はもちろんのこと、学術的なアプローチに対する関心や知識を有し、かつそれらをビジネス上の課題に基づく研究テーマに適用する能力を有する人材を育成する。
修了後の進路	社会人大学院であるため、学生のバックグラウンドは幅広く、さまざまな業種の企業からさまざまな職種の学生が集まることが想定される。現行の経営システム科学専攻でも、民間企業だけでなく官公庁や教育機関などに勤務する学生や、在学中あるいは修了後に転職するケースもあり、起業や大学教員に転ずる学生など幅広い進路が考えられる。

■法学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(法学) [Doctor of Philosophy in Law]
人材養成目的	高度専門職業人の養成・再教育に対する社会的要請に応え、企業や社会が直面する新たな類型の法的諸問題について、総合的かつ高度な判断能力を持ち適切な解決策を提示できる高度専門職業人、及び、その経験を有効に活用し得る研究者の養成を目的とする。
養成する人材像	企業や社会で活躍している高度専門職業人の再教育を主眼としているため、入学時において企業、官公庁等で概ね2年以上の有職経験を有し、かつ、それに裏打ちされた高い問題意識を持って、研究を計画し遂行する社会人を養成する。
修了後の進路	在学中に修得した知見を礎として、企業・官庁・団体における法務等様々な部門におけるジェネラリストまたはスペシャリストとして活躍する者の外、大学等の高等教育機関の教員として研究を行う者が想定される。また、在学中や修了後に転職を経験する者や、起業する者も想定される。

■経営学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(経営学) [Doctor of Philosophy in Business Administration]
人材養成目的	高度専門職業人の養成・再教育に対する社会的要請に応え、企業や社会が直面する新たな類型の問題について、総合的かつ高度な判断能力を持ち適切な解決策を提示できる高度専門職業人、及びその経験を有効に活用し得る研究者を養成する。
養成する人材像	博士(経営学)の学位に相応しい専門知識を有する人材を育成する。加えて、課題発見能力、概念構成能力をはじめとする論理的思考能力や課題解決のための発想力および十分な議論が可能なコミュニケーション能力を具備する人材
修了後の進路	多種多様な業界、職種をバックグラウンドとする現役の社会人が対象であり、在学中に修得した知見を礎として、企業・官庁・団体における経営管理、研究開発等様々な部門におけるジェネラリストまたはスペシャリストとして活躍する者の外、大学等の高等教育機関の教員として研究を行う者、あるいは、在学中や修了後に転職を指向する者や、起業する者など

【法曹専攻】

■法曹専攻（専門職学位課程）

授与する学位の名称	法務博士(専門職) [Juris Doctor]
人材養成目的	以下の4つをすべて満たす法曹を養成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として既に獲得した知識・経験・技能を法曹としての実務の中に活用できる法曹 ・豊かな人間性と感性を備え、法曹として高い倫理観を備える法曹 ・専門的な法知識を具体的な紛争解決に応用する能力、および、既存の考え方を批判し、新たな問題を柔軟に解決できる能力を備えた法曹 ・先端的な法分野について十分に理解し、社会の発展に貢献できる法曹
養成する人材像	具体的には、主として以下(各人のバックグラウンドや目標によりいずれか)の法曹を養成するが、いずれにおいても社会人の有する知識・経験・技能の活用を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般市民が、一般民事・刑事、家事紛争、不法行為、消費者問題等の法的紛争を解決するために、容易にアクセスできる人材 ・国または地方自治体の政策立案に際して高度の専門知識を活用できる人材 ・企業法務担当者などが、グローバルビジネス、社会保障法、知的財産法等の最先端の法分野に関する高度の専門知識を活用できる人材 ・社会経験に裏打ちされた人間性豊かな人材
修了後の進路	修了後、司法試験に合格した者は1年間の司法修習を経て弁護士、検察官、裁判官といった一般法曹実務家の道に進み、合格しなかった者は従前から所属する組織にとどまる等して、法科大学院での学修の成果を社会において活用する。

【国際経営プロフェッショナル専攻】

■国際経営プロフェッショナル専攻（専門職学位課程）

授与する学位の名称	国際経営修士(専門職) [Master of International Business Administration]
人材養成目的	「高度専門職業人」として、国際社会や文化の多様性を理解し、変化するビジネス環境に適合した適切な行動を導くことができる知識・技能・資質をもった経営専門職、特に、経営に関するコア力量を持つビジネスマネジャー、国際対応力量に秀でたカントリーマネジャー、応用情報技能に秀でたプロジェクトマネジャーの3タイプのグローバルリーダーを養成する。
養成する人材像	多様性の高い学習環境において、文化的感受性と創発的なコミュニケーションができる英語力を持ち、主体的な問題意識や自律的な行動様式を備え、将来、営利又は非営利グローバル組織の国際本部および現地事業所、あるいは地域横断的なプロジェクトにおいて、中枢マネジメント人材として活躍するキャリアを目指す社会人有職者。
修了後の進路	本専攻は、有職社会人を対象とした大学院であるため、基本的には従前の勤務先に継続して就業する。但し、毎年、一定数の修了生は、学修内容を通して、それまでの職業経験を活かしつつ、キャリアチェンジをしている。また、チェンジパターンとして、異業種、日本企業から外資系企業、国内企業から海外企業への地域間移動、同級生との起業、あるいは民間企業から国連など国際公務員への転身等、多様性がある。さらに、専門職大学院の学習内容をさらに発展させるため、大学院博士課程に進学する修了生もいる。

理工情報生命学術院

【数理物質科学研究群】

■数学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(理学) [Master of Science]
人材養成目的	純粋数学から応用数学まで幅広い視野を持った研究者、教育界を担うべく数学力を十分に備えた教育指導者、社会の第一線で数理科学能力を存分に発揮できる高度専門職業人等を養成する。
養成する人材像	研究者となるために必要な幅広い視野を持ち、教育界を担うに必要な数学力を十分に備え、社会の第一線で高度専門職業人として活躍できるだけの数理科学能力を備えた人材。
修了後の進路	後期課程進学、中学校・高等学校数学科教員、情報・通信企業、金融・保険業、製造業におけるソフトウェア開発担当、システムエンジニア等の研究開発職

■物理学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(理学) [Master of Science]
人材養成目的	自然科学の基礎である物理学について専門的な知識と幅広い視野を持ち、物理学関連分野における研究を行う基礎的能力と高度な専門的職業を担うための柔軟な応用力を持つ人材を養成する。
養成する人材像	物理学の素養だけでなく関連学問分野の知識を身に着け、解明・解決すべき問題に科学的に立ち向かう突破力を身に着け、後期課程において自立した研究を推進できる人材。 宇宙史一貫教育領域では、素粒子・原子核・宇宙の物理学諸分野を宇宙の進化の過程と捉える視点に基づき、国際的な研究拠点をまたいだ教育システムにより、高い専門性とともにこれら諸分野を横断する能力を持ち、宇宙史に関して国際的に活躍できる人材。 加速器科学領域では、高エネルギー加速器研究機構のBファクトリー、J-PARC、放射光科学研究施設などを用いた研究および次世代加速器の開発を行い、将来、加速器分野で活躍できる人材。 放射光物質科学領域では、放射光施設等(例えば、PF、J-PARC、SPring-8、さらに、海外の施設)を活用した研究を行い、物質科学の知識・技術に加えて放射光等の知識・技術の両方を修得し、放射光施設、民間企業で物質開発を推進できる人材。
修了後の進路	後期課程への進学、または、公的研究・教育機関、産業界における研究開発職

■化学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(理学) [Master of Science]
人材養成目的	化学とは、電子・分子のレベルで物質の構造や反応を解明し、自然界における現象への理解を深めると共に、新物質の創製とそれらの持つ新しい機能の発現について研究を行う学問分野である。本分野で、世界的視野を持って独創性を発揮できる人材の養成を目的としている。特に前期課程では、高度専門職業人として、さまざまな化学に関連する分野における研究の担い手となる人材を養成する。
養成する人材像	化学を通じて世界に貢献するという明確な意思と真摯な態度、社会の発展に寄与する研究で問題解決を図る能力、国際社会で交渉できるコミュニケーション能力と語学力を有する人材。
修了後の進路	博士後期課程への進学、民間企業の研究所や国内の研究機関などの研究開発職等

■ 応用理工学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(工学) [Master of Engineering]
人材養成目的	物質、材料からデバイス、計測技術に至る多様な工学的分野において、十分な理学的基礎力を備えた上で、多様な現実の問題にしなやかに対応できる、オリジナルの技術を作り上げ、後進を育成できる工学的応用力、適用力を有する高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	物質、材料からデバイス、計測技術に至る多様な工学的分野において、十分な理学的基礎力を養うとともに、複数指導教員体制での多様な価値観での教育、研究活動を通して、高い研究開発能力を有し社会に貢献できる高度専門職業人材。 <電子・物理工学サブプログラム> 物理学を中心とする自然科学を基礎とした応用物理計測、ナノ工学、電子デバイスの分野において、世界的レベルの研究および技術開発、さらに工学的実践を先導する、高度な専門知識・能力をもつ高度専門職業人材。 <物性・分子工学サブプログラム> 量子物性、量子理論、材料物性及び物質化学・バイオ工学等の物質工学における専門分野についての深い知識を有し、高度な研究能力を持って社会に貢献できる高度専門職業人材。
修了後の進路	応用物理、エレクトロニクス、計測、物質化学、材料科学を中心とする学問分野および応用分野における、民間企業および公的な研究・開発機関の研究者、技術者、製造業（自動車関連、電器、金属、化学、情報・IT 関連等）、ガス、電力、鉄道輸送などの研究開発職、国家公務員(特許庁など)

■ 国際マテリアルズイノベーション学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(工学) [Master of Engineering]
人材養成目的	自然界を材料科学・工学の見地から深く探求し、理解する能力を養い、最先端の材料科学・技術を応用することによって、広い視野から新たな価値を創造するイノベーション能力を有する人材を養成する。
養成する人材像	未来型の革新的エネルギー材料やエレクトロニクスにおけるイノベーションを導き、社会の価値の創造に貢献できる人材の育成を目指して、物質材料に関して、設計、解析、創出するための能力を有し、地球規模の社会的ニーズを把握し、国際社会で活躍する人材。
修了後の進路	製造業（自動車関連、エレクトロニクス、金属、化学、情報・IT 関連等）、ガス、電力、鉄道輸送などの研究開発職

■ 数学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(理学) [Doctor of Philosophy in Science]
人材養成目的	純粋数学から応用数学まで幅広い視野を持った国際的に活躍できる研究者や大学教員を育成し、教育界や産業界などの社会的指導者と数学的知識を様々な分野に応用できる高度職業人を養成する。
養成する人材像	純粋数学から応用数学まで幅広い視野を持った国際的に活躍できる研究者、教育界や産業界などの社会的指導者および高度な数学的知識を様々な分野に応用できる人材。
修了後の進路	研究職(大学・高等専門学校教員企業研究所の研究員)および中・高等学校教員

■物理学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(理学) [Doctor of Philosophy in Science]
人材養成目的	最先端の物理学研究を主体的に遂行することを通して、自ら問題を見出し、それを探求し、解決する能力を培い、学界のみならず産業界において自立した研究者として活躍できる人材を養成する。
養成する人材像	<p>物理学の素養だけでなく関連学問分野の知識を身に着け、解明・解決すべき問題に科学的に立ち向かう突破力を身に着けている人材。学界においては、高度な専門的知識と確かな研究力を身につけ、宇宙の成り立ちから物質の世界まで広がる幅広い物理学の諸分野や他の学問との境界領域において、科学のフロンティアを発展させることができる人材。産業界においては、だれも解決し得なかった困難な課題に立ち向かい、物事の根本原理に立ち返って産業技術のイノベーションを実現できる人材。</p> <p>宇宙史一貫教育領域では、素粒子・原子核・宇宙の物理学諸分野を宇宙の進化の過程と捉える視点に基づき、国際的な研究拠点をまたいだ教育システムにより、高い専門性ととともにこれら諸分野を横断する能力を持ち、宇宙史に関して国際的に活躍できる人材を育成する。加速器科学領域では、高エネルギー加速器研究機構のBファクトリー、J-PARC、放射光科学研究施設などを用いた研究および次世代加速器の開発を行い、将来、加速器分野で活躍できる人材。</p> <p>放射光物質科学領域では、放射光施設等(例えば、PF、J-PARC、SPring-8、さらに、海外の施設)を活用した研究を行い、物質科学の知識・技術に加えて放射光等の知識・技術の両方を修得し、国内内外の大学、研究所、放射光施設、民間企業で物質開発を推進できる人材。</p>
修了後の進路	国内外の大学及び公的研究機関における研究・教育職。産業界における研究開発職

■化学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(理学) [Doctor of Philosophy in Science]
人材養成目的	化学分野における最先端研究テーマの提案、適切な研究計画の立案、及びその研究の円滑な推進を、学界及び産業界を問わず、世界的視野、独創性、自立性をもって実践できる、汎用性の高い研究者を養成する。
養成する人材像	化学を通じて世界に貢献するという明確な意思と真摯な態度、社会のニーズを理解し、自らの力で研究を計画し推進する能力、国際社会で交渉できるコミュニケーション能力と語学力、学術論文等によって研究成果を社会に発信・還元する能力、および研究活動における高い倫理観を併せ持つ人材。
修了後の進路	高度な研究能力、専門知識、および豊かな学識をもち、我が国の科学技術の発展に寄与する優れた研究者(大学及び公的研究機関、産業界(企業等))

■応用理工学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(工学) [Doctor of Philosophy in Engineering]
人材養成目的	物質、材料からデバイス、計測技術に至る多様な分野において、十分な理学的基礎力を備えた上で、多様な現実の問題に対応できる、深い知識と豊かな創造性を有する優れた研究者、並びに、オリジナルの技術を作り上げ、後進を育成できる工学的応用力、適用力を有する研究者、高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	十分な理学的基礎力を備えた上で、最先端工学における多様な現実の問題に対応できる、深い知識と豊かな創造性を有する優れた研究者、並びに、高い研究開発能力を有し社会に貢献できる高度専門職業人材。 <電子・物理工学サブプログラム> 物理学を中心とする自然科学を基礎とした応用物理計測、ナノ工学、電子デバイスの分野において、世界的レベルの研究および技術開発、さらに工学的実践を先導する、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者、あるいは、高度な専門知識・能力をもつ高度専門職業人材。 <物性・分子工学サブプログラム> 研究者として自立するのに必要な研究能力を備え、量子物性、量子理論、材料物性及び物質化学・バイオ工学等の物質工学における専門分野についての深い知識と高度な研究を行い得る研究者、高度な研究能力を持って社会に貢献できる高度専門職業人材。 <NIMS 連携物質・材料工学サブプログラム> 国立研究開発法人 物質・材料研究機構の精鋭の研究者が大学院教員として研究指導を行い、金属・セラミック材料工学、ナノ材料工学、有機・生体材料工学、物理工学、半導体材料工学などの物質・材料工学分野において、様々な社会的課題に対して物質・材料工学の専門家として高度な工学的応用力、適応力を持ち貢献できる高度専門職業人材
修了後の進路	応用物理、エレクトロニクス、計測、物質化学、材料科学を中心とする学問分野および応用分野における、高等教育機関、国立研究開発法人等の公的研究機関、民間企業の教員、研究者、高度技術者、製造業（自動車関連、電器、金属、化学、情報・IT 関連等）、ガス、電力、鉄道輸送などの研究開発職、地方公務員、国家公務員（特許庁など）、大学・公的研究機関の教員、常勤研究員、博士研究員、国立研究開発法人、大学等の公的研究機関あるいは企業の研究所などの研究者

■国際マテリアルズイノベーション学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(工学) [Doctor of Philosophy in Engineering]
人材養成目的	物理・化学・数学・生物学・医学・情報科学などの多数の分野間の垣根を越え、自然科学の基礎知識に基づく俯瞰的な視野を持ち、よりよい高度な物質社会を構築するためのイノベーションを創造する能力を有する教育者、研究者、高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	未来型の革新的エネルギー材料やエレクトロニクスにおけるイノベーションを導き、社会の価値の創造に貢献できるリーダーの育成を目指して、物質材料に関する高度な能力を有し、地球規模の社会的ニーズに対応するアイデアを創出し、国際社会でリーダーとして活躍する人材。
修了後の進路	製造業（自動車関連、エレクトロニクス、金属、化学、情報・IT 関連等）、ガス、電力、鉄道輸送などの研究開発職。地方公務員、国家公務員（特許庁など）、大学・公的研究機関の教員、常勤研究員、博士研究員。

【システム情報工学研究群】

■社会工学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(社会工学) [Master of Science in Policy and Planning Sciences]
人材養成目的	「社会工学学位プログラム(修士)」を通して、専門的な見地から社会要請に提言・寄与できる国際的なスペシャリスト「未来構想のための工学に立脚した問題解決型人材(モード1型人材)」を養成する。
養成する人材像	「未来構想のための工学に立脚した問題解決型人材(モード1型人材)」社会的知識、論理的思考力、各種の工学的スキルを基盤とする「問題解決能力」を有し、IT エンジニア、生産管理・マーケティング技術者、政府系銀行、金融アナリスト、コンサルタント、シンクタンク研究員、都市計画・まちづくりコンサルタント、組織管理職、ファイナンシャル・プランナー、建設・不動産企画/開発プランナー、タウンアーキテクト、国・都道府県・市町村企画部門公務員等として活躍できる人材。
修了後の進路	IT エンジニア、生産管理・マーケティング技術者、政府系銀行、金融アナリスト、コンサルタント、シンクタンク研究員、都市計画・まちづくりコンサルタント、組織管理職・ファイナンシャル・プランナー、建設・不動産企画/開発プランナー、タウンアーキテクト、国・都道府県・市町村企画部門公務員等

■サービス工学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(サービス工学) [Master of Engineering in Service Science]
人材養成目的	「サービス工学学位プログラム」を通して、高度な専門知識と豊かな人間性を兼ね備えた高度専門職業人「サービス分野の未来開拓者（モード2型人材）」を養成する。
養成する人材像	「サービス分野の未来開拓者（モード2型人材）」すなわち、サービス分野における現在・将来の社会問題に立ち向かい、新たなやり方を創造・実践し、結果を科学的に検証できる人材を育成する。彼らは、企業のサービス開発エンジニアや経営企画担当者、官公庁の地域サービス振興担当者、起業家等として活躍する人材。
修了後の進路	企業のサービス開発エンジニアや経営企画担当者、官公庁の地域サービス振興担当者、起業家等

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(工学) [Master of Engineering]
人材養成目的	不安定化する昨今の社会情勢の中で、適切なリスクマネジメントに基づく「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安心・安全な国土と地域・経済・情報社会、すなわちレジリエントな社会システムの実現は最も重要な課題である。本学位プログラムでは、「工学的視点から、不測の事態や状況の変化に柔軟に対応し、求められる機能を維持提供し続け、回復する能力」、すなわち、リスクを工学的方法により分析・評価した結果をレジリエンス社会の実現のために活用できる高度な技術をもち、現実社会の問題を見据えて教育研究成果等を社会還元できる高度専門職業人の養成を目的とする。
養成する人材像	工学基礎力をベースにリスク・レジリエンス解析・評価のための基礎理論および関連情報処理技術を修得し、それを広い視野でリスク・レジリエンス工学の対象である現実の問題に対応させ、十分なコミュニケーション能力で研究チームや研究プロジェクトの中で与えられた役割分担を果たし、必要に応じてリーダーシップをとりつつ、工学的手段による問題設定から解決までの具体的方法を考案・開発することができる人材
修了後の進路	情報通信業・運輸業・エネルギー産業・製造業・建設業・金融業・保険業・コンサルタント業・その他サービス業、大学教職員、国・民間の研究所、国家公務員、地方公務員など

■情報理工学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(工学) [Master of Engineering]
人材養成目的	学位プログラムにおける教育・研究を通じて、情報技術の多様な分野に関して深い専門性を持つとともに国際的にも通用する知識と専門的研究能力・実務能力を持ち、独創性と柔軟性を兼ね備え、これらを活用して特定の領域における問題に対して情報学的アプローチによってその解決に貢献できる人材を育成することを目的とする。
養成する人材像	情報技術の幅広い分野にわたる専門的知識と技術力を持ち、専門分野に関するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力、研究開発を遂行するための基礎的能力を備え、これらの知識と能力を応用して、実社会の様々な問題を解決することのできる研究者および高度専門職業人等の人材。
修了後の進路	本プログラムを修了した修士人材は、広範なインフォメーションサイエンスの共通基盤技術及び先端専門技術あるいは理工学の専門的知識および技術を活用し、企業・団体、教育・研究機関、官庁・自治体において社会の諸問題の情報技術による解決を先導する。また、博士後期課程へ進学し、さらなる知識・技術を身につけ、研究者・教育者、あるいは企業・団体・官庁・自治体においてリーダーシップを発揮する。

■知能機能システム学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(工学) [Master of Engineering]
人材養成目的	工学分野の基礎知識と倫理観を備えるとともに、知能機能システム(人・社会・自然界における複雑な現象を表す数理モデルや、数学・物理学・情報学などの理論に基づいて構成され、さまざまな機能をもつ要素が連携協調して実社会に貢献する工学システム)に関する専門知識と技術、研究能力を身に付け、広い視野に立って問題を発見し解決できる高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	工学分野の高度専門職業人にふさわしい基礎知識と学力、倫理観を備えるとともに、知能機能システムに関する専門知識と技術および研究力をもち、工学分野における社会的または学術的意義のある問題を見極めてその解決に向けて貢献することができる人材。
修了後の進路	大学院博士後期課程、電気・機械・情報通信分野の企業において製品・システムなどの開発に従事する専門技術者

■構造エネルギー工学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(工学) [Master of Engineering]
人材養成目的	機械、建築、社会基盤、エネルギー、航空宇宙などのいずれかの工学分野において高度の専門知識を有するだけでなく、関連する周辺分野にも横断的な視野を持ち、本質的な問題を抽出して独自の解決方法が提案でき、その成果を国の内外に効果的に発信できる能力を有する研究者および高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	機械、建築、社会基盤、エネルギー、航空宇宙などの工学分野に興味を持ち、人類の発展に貢献する発想豊かな技術者あるいは研究者を志す人材。更に、高度な専門知識だけでなく、関連する周辺分野への横断的な視野を獲得する意思のある人材。
修了後の進路	機械、建築、社会基盤、エネルギー、航空宇宙分野などの民間企業、国または地方自治体、国立研究開発法人、大学院博士後期課程・博士学位プログラムなど

■エンパワーメント情報学プログラム（5年一貫制博士課程）

授与する学位の名称	博士(人間情報学) [Doctor of Philosophy in Human Informatics]
人材養成目的	多様な文化的背景を有する人々が集まる国際社会において、イニシアティブを発揮し、人をエンパワーするシステムをデザインできるグローバル人材を養成する。
養成する人材像	「人の機能を補完し、人とともに協調し、人の機能を拡張する情報学」である「エンパワーメント情報学」分野における基礎的研究力に加えて、多角的で複眼的な思考ができる「分野横断力」、産学官にわたる実問題を解決する「現場力」、研究成果の本質を効果的かつ魅力的に伝える「魅せ方力」といった実践力を有する人材。
修了後の進路	人機能の「補完」「協調」「拡張」の融合業界として、医療福祉介護産業、先進自動車産業、スマート家電産業、クリエイティブインダストリー等。

■ライフイノベーション（生物情報）学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(生物情報学) [Master of Bioinformatics]
人材養成目的	ライフイノベーション学位プログラムでは、分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度な専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野でグローバルに活躍する高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	生物情報学的アプローチを通じてグローバル社会の諸問題の解決に貢献するには、国際社会で活躍できるコミュニケーション能力、語学力、生物情報学およびその関連分野の知識を身に付け、解決すべき問題に科学的に立ち向かう突破力が必要である。本プログラム前期課程を通して、「生命科学と情報科学の発展的な知識・技能を持ち、生物情報学における問題設定・解決に至るまでのプロセスを実践できる研究者を目指すための博士論文研究基礎力を有する者及び高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	企業や研究機関が本学位プログラム教育に携わる事により、社会が求める人材を育成することが可能となり、より即戦力をもつ人材として、本プログラム修了者の社会的需要は高まると期待される。国内外の民間企業、研究機関、教育機関、行政機関に就職し、健康科学、医薬品、食料、環境の分野において、研究者、技術者、経営者、行政官となることが期待される。

■社会工学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(社会工学) [Doctor of Philosophy in Policy and Planning Sciences]
人材養成目的	資産・資源のデザイン(ファイナンス・最適化)、空間・環境のデザイン(都市計画)、組織・行動のデザイン(行動科学)の3つの分野全般の知識を有し、少なくとも1つの分野で専門家と呼ぶにふさわしい工学的なスキルを備え、自ら問題発見・問題解決のプロセスを完遂して、国際的に評価の高い研究成果を創出できる「未来構想のための工学に立脚した問題発見・解決型人材」(大学教員、高度専門職業人、研究者等)を養成する。
養成する人材像	「未来構想のための工学に立脚した問題発見・解決型人材」 社会的知識、論理的思考力、各種の工学的スキルを基盤とする「問題解決能力」と、より抽象的な事象を対象化できる「問題発見能力」を有し、工学・経済・学際系大学教員、官公庁関連職員、国際公務員、IT エンジニア、生産管理・マーケティング技術者、政府系銀行、金融アナリスト、コンサルタント、シンクタンク研究員、都市計画・まちづくりコンサルタント、建設・不動産業企画/開発プランナー、タウンアーキテクト、国・都道府県・市町村企画部門公務員等として活躍できる人材。
修了後の進路	工学・経済・学際系大学教員、官公庁関連職員、国際公務員、IT エンジニア、生産管理・マーケティング技術者、政府系銀行、金融アナリスト、コンサルタント、シンクタンク研究員、都市計画・まちづくりコンサルタント、建設・不動産業企画/開発プランナー、タウンアーキテクト、国・都道府県・市町村企画部門公務員等

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(工学) [Doctor of Philosophy in Engineering]
人材養成目的	不安定化する昨今の社会情勢の中で、適切なリスクマネジメントに基づく「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安心・安全な国土と地域・経済・情報社会、すなわちレジリエントな社会システムの実現は最も重要な課題である。本学位プログラムでは、「工学的視点から、不測の事態や状況の変化に柔軟に対応し、求められる機能を維持提供し続け、回復する能力」、すなわち、リスクを工学的方法により分析・評価した結果をレジリエンス社会の実現のために活用できる高度な技術をもち、現実社会の問題を見据えて教育研究成果等を社会還元でき、深い理論的基盤に基づく研究能力と高度な技能・実践力を有するアカデミックなグローバル人材の養成を目的とする。
養成する人材像	高い工学基礎力をベースにリスク・レジリエンス解析・評価のための理論的基盤および高度な関連情報処理技術を修得し、それを広く総合的な視野でリスク・レジリエンス工学の対象である現実の問題に対応させ、高いコミュニケーション能力で研究チームや研究プロジェクトの中で与えられた役割分担を果たし、リーダーシップをとりつつ、工学的手段による問題設定から解決までの具体的方法を創造・開発するのみならず、国際的な場においても高いプレゼンテーション能力を発揮しつつ活躍できる人材
修了後の進路	情報通信業・運輸業・エネルギー産業・製造業・建設業・金融業・保険業・コンサルタント業・その他サービス業、大学教職員、国・民間の研究所、国家公務員、地方公務員など

■情報理工学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(工学) [Doctor of Philosophy in Engineering]
人材養成目的	学位プログラムにおける教育・研究を通じて、情報技術の多様な分野に関して深い専門性を持ち、国際的にも通用する知識と専門的研究能力・実務能力を持ち、独創性と柔軟性を兼ね備え、これらを活用して特定の領域における問題に対して情報学的アプローチによってその解決にをリードすることができる人材を育成することを目的とする。
養成する人材像	情報技術の幅広い分野にわたる専門的知識と先端的技術力を持ち、専門分野に関する高いコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力、研究開発を遂行するための高度な能力を備え、これらの知識と能力を応用して、実社会の様々な問題の解決をリードすることのできる研究者および高度専門職業人等の人材。
修了後の進路	本プログラムを修了した博士人材は、教育・研究機関において情報学あるいは理工学の先端研究及び教育を主体的に行い、革新的な新技術の開発を行う。また、情報学における共通基盤技術および先端専門技術に加え、理工学のいずれかの問題領域における専門的知識を活用し、教育・研究機関、企業・団体、官庁・自治体において分野を超えた社会の諸問題の情報技術による解決を先導する。

■知能機能システム学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(工学) [Doctor of Philosophy in Engineering]
人材養成目的	工学分野の幅広い知識と倫理観、知能機能システム(人・社会・自然界における複雑な現象を表す数理モデルや、数学・物理学・情報学などの理論に基づいて構成され、さまざまな機能をもつ要素が連携協調して実社会に貢献する工学システム)に関する高度な専門知識と技術、独創的な研究力を備えるとともに、広い視野に立って重要な問題を発見し解決することができる研究者または高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	工学分野の研究者または高度専門職業人にふさわしい幅広い知識と学力、倫理観を備えるとともに、知能機能システムに関する高度な専門知識と技術を持ち、知能機能システムに関する最先端の研究を行って独創的な成果を上げるとともに、学術的または社会的に重要な問題を見極めてそれを解決することによって、学術や社会の発展に貢献することができる人材。
修了後の進路	大学等の教育機関の教職員、国立研究開発法人等の研究者、電気・機械・情報通信分野の企業において研究開発に携わる高度専門技術者

■構造エネルギー工学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(工学) [Doctor of Philosophy in Engineering]
人材養成目的	機械、建築、社会基盤、エネルギー、航空宇宙などのいずれかの工学分野において高度の専門知識を有するだけでなく、関連する周辺分野に関する横断的な視野や国際的な情報発信能力を備え、研究プロジェクトを適切に管理・運営し、社会で主導的な役割を果たし、工学分野に学ぶ後進を適切に指導できる大学教員、研究者及び高度専門職業人を育成する。
養成する人材像	機械、建築、社会基盤、エネルギー、航空宇宙などの工学分野に対して幅広い知識を持ち、人類の発展に貢献する発想豊かな技術者あるいは研究者を志し、高度の専門知識だけでなく、関連する周辺分野への横断的な視野を有し、各分野において指導的な立場で活躍する能力を有する人材。
修了後の進路	機械、建築、社会基盤、エネルギー、航空宇宙分野などの民間企業、大学教員、国立研究開発法人、日本学術振興会特別研究員など

■ライフイノベーション（生物情報）学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(生物情報学) [Doctor of Philosophy in Bioinformatics]
人材養成目的	分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野で、国際的に評価の高い研究成果を創出し、グローバルに活躍する高度専門職業人または研究者を養成する。
養成する人材像	博士後期課程では博士前期課程で修得した生物情報学の深い知識や技能だけでなく関連分野の幅広い知識を用いて、「生命情報学におけるイノベーションを創発するような国際的通用性の高い研究成果を創出できる研究者および高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	ライフサイエンス分野における実験技術、研究マネジメントスキル、国際レベルの高い研究成果を基盤として、「課題解決能力」と「課題発見能力」を駆使し、ライフサイエンス分野の課題を解決するグローバル人材として、国内外の民間企業、研究機関、教育機関、行政機関に就職し、健康科学、医薬品、食料、環境の分野において、研究者、技術者、経営者、行政官として国際的に活躍する事が期待される。研究のグローバル化に伴い、海外との共同研究やコーディネートをする機会が今後さらに増加すると考えられ、博士課程修了者の需要は高まると考えられる。

【生命地球科学研究群】

■生物学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(理学) [Master of Science]
人材養成目的	基礎生物学ならびに生命科学領域の研究の基盤となる系統分類・進化学、生態学、植物発生・生理学、動物発生・生理学、分子細胞生物学、ゲノム情報学、先端細胞生物科学、先端分子生物科学の8分野において、広い学識と基本的な研究能力、問題探求能力と実践力をもつ博士課程進学者、中・高等学校教員、高度職業人等を養成する。
養成する人材像	以下の能力を有する人材を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野に関する知識と基本的な研究能力を修得している。 ・生物界や生命現象を論理的に捉え、基礎科学的な視点から設定された問題に取り組みその背後にある基本原理を探究することができる。 ・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を修得している。
修了後の進路	博士課程進学者、中・高等学校教員、企業等研究員、企業等技術者

■生物資源科学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(農学) [Master of Agricultural Science]
人材養成目的	農・生物・環境に関する生物資源科学分野の研究者等の養成の一段階として、生物資源科学に関する基礎的な専門知識を修得し、食料の安定供給や生物資源の開発、保全、持続的利用等、人類の安定な生存と持続的な発展に貢献できる、創造性豊かな優れた研究・開発能力を有する人材、加えて高度の専門的な職業を担うための卓越した能力を有する人材を養成する。
養成する人材像	生物資源科学に関する基礎的な知識を有し、生物資源に関わる現実の課題について、農林生物学、農林社会経済学、生物環境工学、応用生命化学、バイオシステム学の各領域の専門知識を基盤とした課題解決の手法を理解し、グローバルな視点とローカルな視点を兼ね備え、課題解決の具体的な手段を考案・開発する能力を有する人材。
修了後の進路	食料・農業・環境に係る国内外の公官庁、企業・研究機関・大学等教育機関、NGO等において研究、教育、行政、技術開発、コーディネート、コンサルタント等の業務に携わる。また、修了生の一部は、さらに専門性を高め自立した研究者として能力を修得するため博士後期課程に進学する。

■地球科学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(理学) [Master of Science]
人材養成目的	地球の過去および現在の様々な自然現象を理解し、地球規模での諸問題の解決に貢献できる幅広い基礎知識と専門的研究能力を有し、世界を舞台として現代社会の諸問題の克服に必要な科学的思考力をもつ人材を養成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・理学及び地球科学に関する幅広い基礎知識と優れた専門性の両面を有する人材 ・優れたフィールドワーク能力または実験・データ解析能力を有する人材 ・地球科学的諸問題に対する解決能力を有する人材 ・社会で通用する外国語能力およびコミュニケーション能力を有する人材 ・地球科学に対する社会のニーズを理解し、企業等において即戦力となる基礎知識と行動力を有する人材 ・研究活動における高い倫理観を有する人材
修了後の進路	大学院博士後期課程、民間企業、公務員、研究所研究員、中学校高校教員、博物館学芸員など

■環境科学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(環境科学) [Master of Environmental Sciences]
人材養成目的	地域および地球規模課題を解決していく高度職業人材には、俯瞰的・分野横断的な視点から問題の背景を分析・理解する研究・調査能力と、さらに当該問題の解決策を提言できる能力が必要である。具体的には、理学、工学、農学、社会科学等の融合から培われた国際水準の専門性や独創性を醸成するとともに、政策立案・履行の過程への貢献度も踏まえた、俯瞰力、実践力、即戦力、コミュニケーション力を涵養することで、グローバルリーダーとしての資質を育成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント人材:各専門分野において高度な専門性と環境科学全般に関する学際的視野を有し、企業の海外展開など各種事業運営にとって不可欠な人材。 ・専門性をもった実務的人材:国際機関、国際協力関連機関、企業の海外展開部門等において、高い専門性・調査能力が必要とされる国際協力案件等の実務を円滑に遂行できる人材。 ・リーダーシップ人材:地域および地球規模の環境問題等の解決のため、高い専門性と分析力・問題解決能力を駆使しながら、チームワーク力と高い科学コミュニケーション力で国際交渉・ステークホルダー間折衝等を有効に遂行できる人材。
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> ・博士後期課程進学 ・総合商社、メーカー、環境関連サービス、コンサルタントなどの民間企業、環境関連団体、マスコミなどの社員、職員、環境コンサルタント・アドバイザー ・国、地方官公庁等の公務員、学校教員 ・国際協力機関の職員・コンサルタント・調査員、企業の海外部門担当 ・環境関連事業の起業家 ・海外政府機関の行政官

■山岳科学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(山岳科学) [Master of Science in Mountain Studies]
人材養成目的	山岳域における自然変動・人間活動に伴う地圏・水圏、生態系、森林などの自然資源に関する諸問題に対処するために、豊かで力強い地域社会の創生や林業をはじめとする中山間地域の産業振興に必要な知識と技術を備え、幅広い視野と専門的な知識によりの確に方策を講ずることができる判断力及び行動力を備えた人材を養成する。
養成する人材像	山岳科学の自然科学や社会科学などの複数領域にまたがる知識、技術等を習得し、山岳域における諸現象・諸問題強い関心を持ち、それらの解決に具体的に貢献する人材
修了後の進路	山岳域の諸問題に携わる国家・地方公務員、国立研究開発法人研究所、地方自治体研究機関、気象関連企業、林業・木材関連企業、アウトドア・観光関連企業、環境コンサルタント関連企業、NPO/NGO 職員など

■ライフィノベーション（食料革新）学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(食料革新学) [Master of Food Innovation]
人材養成目的	ライフィノベーション学位プログラムでは、分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度な専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野でグローバルに活躍する高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	食品の特定の成分の機能性に着目した開発は健康増進、疾病予防等の新たな付加価値を食品に与え、産業創成や地域振興に貢献することが期待される。本プログラム前期課程を通して「食品の機能性を探査する能力、その効果を効率的に出現させる食品加工に関わる能力、その機能性が人体に及ぼす効果を評価する栄養生理学的な能力、および機能性食品を市場展開していく能力を一連のものとして修得し、食品の新たな価値を創造できる研究者を目指すための博士論文研究基礎力を有する者および高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	企業や研究機関が本学位プログラム教育に携わる事により、社会が求める人材を育成することが可能となり、より即戦力をもつ人材として、本プログラム修了者の社会的需要は高まると期待される。食品の機能性に基づく産業創成の全過程を俯瞰した中で、自らの技術・能力に基づいて問題解決に向けた役割を認識できる相対的な自己分析能力と組織貢献力を身に付けた人材として、食品関連企業、食品関連国公立研究機関、行政機関、国際協力機関、NGO、国際公務員、地域開発コンサルタント、シンクタンク研究員、官公庁の地域振興担当者等として活躍することが期待される。

■ライフィノベーション（環境制御）学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(環境制御学) [Master of Environmental Management]
人材養成目的	ライフィノベーション学位プログラムでは、分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度な専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野でグローバルに活躍する高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	人類を含む生命は、とりまく環境条件によって生存・成長が決定され、近年、社会的注目を集める食の安全性、生物資源の持続可能な利用等のキーワードも環境の適切な制御が密接に関わる。本プログラム前期課程を通して、「生命の生存・成長と環境条件との関係性、すなわち、微視的な環境生理学から巨視的な地球規模の環境生態学までを広く学び、環境条件が生命に及ぼす影響評価と制御に関わる能力、バイオリソースの持続的利用のための資源管理に関わる能力を備えた、研究者を目指すための博士論文研究基礎力を有する者及び高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	企業や研究機関が本学位プログラム教育に携わる事により、社会が求める人材を育成することが可能となり、より即戦力をもつ人材として、本プログラム修了者の社会的需要は高まると期待される。環境およびそれに伴う生命への影響をあらゆるスケールで俯瞰した中で、自らの技術・能力に基づいて問題解決に向けた役割を認識できる相対的な自己分析能力と組織貢献力を身に付けた人材として、環境関連機器メーカー、環境浄化関連企業、環境関連および生物資源管理に関わる国公立研究機関、行政機関、国際協力機関、NGO、国際公務員、環境コンサルタント、シンクタンク研究員、官公庁の環境部門担当者等として活躍することが期待される。

■ライフィノベーション（生体分子材料）学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(生物工学) [Master of Bioengineering]
人材養成目的	ライフィノベーション学位プログラムでは、分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度な専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野でグローバルに活躍する高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	生体分子の機能性に着目した材料開発は、革新的な分析技術、環境・生体適合性の高い機能性材料の実現などに貢献することが期待される。本プログラム前期課程を通して「生体分子の機能に対する理解を深め、生体分子の機能性材料への応用展開について広く学び、それに係るプロジェクトマネジメント技術を修得し、新たな生体材料を創製できる研究者を目指すための博士論文研究基礎力を有する者および高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	企業や研究機関が本学位プログラム教育に携わる事により、社会が求める人材を育成することが可能となり、より即戦力をもつ人材として、本プログラム修了者の社会的需要は高まると期待される。生体分子の様々な分野への応用展開のプロセスを俯瞰した中で、自らの能力・技術に基づいて問題解決に向けた役割を認識できる相対的な自己分析能力と組織貢献力を身に付けた人材として、国内外の民間企業、研究機関、教育機関、行政機関において、研究者、技術者、経営者、行政官となることが期待される。

■生物学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(理学) [Doctor of Philosophy in Science]
人材養成目的	生物界の多様性の理解のもとで、生命現象の基本原則、すなわち、普遍性と個々の生物における独自性を基礎生物学的な観点から解明できる人材を育成することにより、基礎生物学領域の研究者ならびに生命科学領域の研究・開発の現場で活躍できる国際的トップリーダー人材の輩出を目指す。
養成する人材像	以下の能力を有する人材を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学の諸分野における基礎研究の動向を広い視野をもって理解することができる。 ・生物界や生命現象を理論的に捉え、生物学的な視点から問題設定・解決に至るまでのプロセスを構築することができる。 ・問題の背後にある基本原則を解明することにより国際的に通用する学術的成果をあげることができる。
修了後の進路	大学教員、研究機関研究員、企業研究員

■農学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(農学) [Doctor of Philosophy in Agricultural Science]
人材養成目的	総合科学としての農学のもつ幅広い知識、課題探求能力、問題解決能力を修得し、地球規模での農と食と環境にかかわる課題解決に根拠を与えるような研究を自立して遂行できる高度専門職業人・研究者を育成する。
養成する人材像	産業界はもとより、行政機関などにおいて地球規模課題においては国際的に整合性のある解決を、国内では地域社会の持続性を保証する解決を提言・実践できる人材が育成される。さらには大学における研究・教育の資源となる。
修了後の進路	本プログラムを修了した博士人材は、政府研究機関、政府行政機関、教育機関をはじめ、民間企業など産業界に進出し、国内外で基礎研究、技術開発、商品開発はもとより政策提言や研究行政に携わる。

■生命農学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(生命農学) [Doctor of Philosophy in Life and Agricultural Sciences]
人材養成目的	細胞および生体における統御された生命現象を分子レベルで理解し、その機能の利用を目的とした技術開発を実施できる専門力を修得し、人類の生存基盤の安定化と持続的発展に貢献できる研究者や大学教員を養成する。
養成する人材像	生命農学領域において、生物が有する機能の解明とその利用に関する広い見識と学際性を有し、独創的な研究で国際的に活躍できる人材。
修了後の進路	国内外の企業、団体、研究機関や大学等の研究者や教員

■生命産業科学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(生物工学) [Doctor of Philosophy in Biotechnology]
人材養成目的	生命科学を基盤とし、生命産業の創成およびその素材である生物資源の確保・流通・利用に関する新技術や知的財産権等の創出に寄与し得る研究開発能力を有した研究者を養成する。 さらに、生物資源の産業利用や発展途上国への技術支援・移転等に必須な国際取引や各種規制、社会的容認への対応等の社会科学的側面においても、生命倫理や多様性保護との関係を俯瞰しつつ課題解決を図る能力を有し、専門技術者や政策策定者の国際的リーダーシップのある実務的志向を持った研究者を養成する。
養成する人材像	生命産業の創成およびその素材である生物資源の確保・流通・利用に関し、生物工学的見地から新産業技術や知的財産権等の創出に寄与できる研究開発能力を持ち、かつ「生命」産業界特有のファクターである生命倫理や多様性保護、環境影響評価等の各種規制に関する各国情勢に通じ、その研究能力・知識をもって技術移転や国際戦略・政策策定の実務指導にも対応可能なリーダーシップを持つグローバル・スタンダードな人材を養成する。
修了後の進路	企業研究員、国際的研究機関研究員、大学教員、政府技官、国際産学コーディネーターなど

■地球科学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(理学) [Doctor of Philosophy in Science]
人材養成目的	地球の過去および現在の様々な自然現象を理解し、地球規模での諸問題の解決に貢献できる高度な専門的知識と研究能力を有し、国際的に活躍できる研究者として我が国の科学の発展に寄与できる人材を養成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い基礎知識と優れた専門性の両面を有する人材 ・優れたフィールドワーク能力または高度な実験・データ解析能力を有する人材 ・地球科学的諸問題に対する解決能力を有する人材 ・卓越した外国語能力およびコミュニケーション能力を有する人材 ・大学などの高等教育機関における教育能力を有する人材 ・研究活動における高い倫理観を有する人材
修了後の進路	大学等の高等教育機関、研究所、公務員、民間企業、博物館など

■環境学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(環境学) [Doctor of Philosophy in Environmental Studies]
人材養成目的	地域・地球規模課題に対し、科学的、かつ臨牀的な洞察力をもとに、問題の原因、プロセスを論理的に解明するとともに、グローバルな視点から問題解決策を提示することのできる人材を育成する。理学、工学、農学、社会科学等における国際水準の専門性、独創性ととも、俯瞰力、実践力、論理構成力、説明力、コミュニケーション力を涵養し、グローバルリーダーとして活躍し得る高度専門実務者、研究者、教育者等を育成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> 各専門分野において高度な専門性と環境学全般に関する俯瞰力を有し、併せて実践力とマネジメント力を持ち大学、研究所等において研究者・教育者として活躍する人材。 国際機関、国際協力関連機関、企業の海外展開部門等において、専門性と俯瞰力により国際協力案件等の立案、実行に携わる高度実務者人材。 企業、官公庁等において、学際的、国際的視野から環境関連・地球規模課題等部門のリーダーとして、政策立案、国際交渉等を先導する人材。
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> 大学教員、国・民間研究所等研究員 国際協力機関の職員・コンサルタント・調査員、企業の海外部門担当 環境コンサルタント・アドバイザー 環境関連事業の起業家 海外政府機関の行政官

■ライフイノベーション（食料革新）学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(食料革新学) [Doctor of Philosophy in Food Innovation]
人材養成目的	分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野で、国際的に評価の高い研究成果を創出し、グローバルに活躍する高度専門職業人または研究者を養成する。
養成する人材像	博士後期課程では博士前期課程で修得した食品機能性に基づく産業創成に関わる一連の能力の中で、いずれかの能力に着目して、それを研鑽し、「食品の新たな価値を見出すような国際的通用性の高い研究成果を創出できる研究者および高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	食品の機能性に基づく産業創成の全過程を俯瞰した中で、自らの技術・能力に基づいて問題解決に向けた役割を認識できる相対的な自己分析能力と組織貢献力を身に付けた人材として、食品関連企業、食品関連国公立研究機関、行政機関、国際協力機関、NGO、国際公務員、地域開発コンサルタント、シンクタンク研究員、官公庁の地域振興担当者等として活躍することが期待される。研究のグローバル化に伴い、海外との共同研究やコーディネートをする機会が今後さらに増加すると考えられ、博士課程修了者の需要は高まると考えられる。

■ ライフサイエンス（環境制御） 学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(環境制御学) [Doctor of Philosophy in Environmental Management]
人材養成目的	分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野で、国際的に評価の高い研究成果を創出し、グローバルに活躍する高度専門職業人または研究者を養成する。
養成する人材像	博士後期課程では博士前期課程で俯瞰的に学んだ、生命の生存・成長と環境条件との関係性の中から特定のトピックに着目して、その問題解決能力を研鑽し、国際的通用性の高い研究成果を創出できる研究者および高度専門職業人を育成する。
修了後の進路	環境およびそれに伴う生命への影響をあらゆるスケールで俯瞰した中で、自らの専門に立脚しながら異なる視点からの意見を集約して総合的な解決方法を提示できる統率力と総括力を身に付けた人材として、環境関連機器メーカー、環境浄化関連企業、環境関連国公立研究機関、行政機関、国際協力機関、NGO、国際公務員、環境コンサルタント、シンクタンク研究員、官公庁の企画部門担当者として活躍することが期待される。研究のグローバル化に伴い、海外との共同研究やコーディネートをする機会が今後さらに増加すると考えられ、博士課程修了者の需要は高まると考えられる。

■ ライフサイエンス（生体分子材料） 学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(生物工学) [Doctor of Philosophy in Bioengineering]
人材養成目的	分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野で、国際的に評価の高い研究成果を創出し、グローバルに活躍する高度専門職業人または研究者を養成する。
養成する人材像	博士後期課程では博士前期課程で修得した生体材料学に関連する幅広い知識を用いて、「革新的な生体材料の開発など国際的通用性の高い研究成果を創出できる研究者および高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	生体材料分野における研究能力、マネジメントスキル、プレゼンテーション能力を基盤として、グローバル社会における未解決課題の解決に貢献するプロジェクト統率力および推進力を身に付けた人材として、国内外の民間企業、研究機関、教育機関、行政機関において、研究者、技術者、経営者、行政官として国際的に活躍する事が期待される。研究のグローバル化に伴い、海外との共同研究やコーディネートをする機会が今後さらに増加すると考えられ、博士課程修了者の需要は高まると考えられる。

【国際連携持続環境科学専攻】

■国際連携持続環境科学専攻（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(持続環境科学) [Master of Sustainability and Environmental Sciences]
人材養成目的	熱帯アジア地域を主な対象に、水資源・水環境、水災害、生態系等の地球規模課題に対し、理学、農学、工学、社会科学等の専門的かつ俯瞰的な洞察力を持って問題解決並びに持続可能な社会の実現に寄与することのできる人材を育成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯アジア・モンスーン地域の、水資源・水環境、生物資源・生物多様性、都市問題等に関する、地域的かつ地球規模課題の解決に貢献できる人材 ・途上国における諸課題を理解し、持続可能でレジリエントな未来の地域社会創生に必要な知識と技術を備えた人材 ・専門性、俯瞰的な視点をもち、困難な課題に真摯に対峙し、問題を的確に解決するための対策を講ずることができる人材
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のグローバル企業、環境コンサルタント企業等の海外部門における水環境プラント開発の担当者 ・海外のグローバル企業、環境コンサル企業等の水環境事業の担当者 ・国際協力機関等において、適切な森林施業普及等により、環境防災・持続可能な水資源ガバナンス・森林資源の管理・利用等に従事する者 ・上記業種に関連するシンクタンクやコンサルタント会社におけるアナリスト

人間総合科学学術院

【人間総合科学研究群】

■教育学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(教育学) [Master of Education]
人材養成目的	人間の営みと社会の発展に対して教育がもつ意義と役割を体系的に理解し、地球的規模の広がりをもつ現代の教育課題を鋭敏に捉え、教育学諸分野の学術的アプローチを用いて分析する基礎的研究能力を有し、多様な教育現場において卓越した専門的知見をもって課題解決をリードすることのできる研究力のある高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学・研究機関等において教育学諸分野の教育・研究に従事する研究者 ・国内外の行政機関・国際機関等で教育学の学術的アプローチを用いて教育政策の効果分析、政策形成、教育開発援助等に従事する研究力のある高度専門職業人 ・国内外の教育行政機関、学校、社会教育・生涯学習機関、NPO等の教育関連組織等で教育活動や人材育成をリードする研究力のある高度専門職業人
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学・研究機関等 ・国内外の行政機関・国際機関等 ・国内外の教育行政機関、学校、社会教育・生涯学習機関、NPO等の教育関連組織等

■心理学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(心理学) [Master of Arts in Psychology]
人材養成目的	心理学とは、人間理解の要として、心とは何かを問い、心のはたらきを明らかにする学問領域であり、そのために人間が外界からの情報を取り入れ、理解し、最終的に適切な行動を取るにいたる過程を現象的に、機能的に、また、それを支える脳の機能にまでさかのぼって明らかにすることを目的とする学問領域である。こうした心理学領域全体の知識・方法論・技能・価値観を身に着け、その上で、社会科学諸領域を初めとする隣接諸領域、学際研究として展開可能な複合領域との多様かつ密接な関係性を持ち、その上で人間研究の専門家として社会に貢献できる人材、すなわち、確固たる基礎、幅広い視野と問題意識を持つ心理学領域研究者たる人材を養成する。
養成する人材像	心理学領域の専門的研究職として確固たる視点を獲得した上で、人間を総体として客観的に理解する能力、心の多様性と普遍性を理解する能力、人間と環境との相互作用を理解する能力を基に、人間に関する専門研究者として社会貢献する能力を持つ人材。中でも、心理基礎科学サブプログラムでは、心理学領域全体の広い視野を持ちつつ、心理学の方法論や知識・技能を習得し、心理学の基礎研究の成果および方法論等をより広く社会に還元できる有為な人材として、専門研究者となりうる人材および高度専門職業人としての人材。また心理臨床学サブプログラムでは、総合的・多面的に心理臨床学を創造的に発展させる能力と実践的に応用するための技術を兼ね備えた、専門研究者になりうる人材および高度専門職業人としての人材。
修了後の進路	自立した研究者となるための大学院博士後期課程への進学その他、心理基礎科学サブプログラム修了後には、自治体、コンサルティング会社や教育関係民間研究所での心理学専門職、あるいは製造・流通業その他広く民間企業における人間に関わる研究をベースとする心理学専門職など、心理臨床学サブプログラム修了後には、公認心理師、臨床心理士の資格を得た上で、都道府県や市町村の公務員(心理職、一般職)、家庭裁判所(調査官補)、病院や精神科クリニック、その他、心理臨床学の実践が必要とされる職場での心理専門職、等。

■障害科学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(障害科学) [Master of Arts in Disability Sciences]
人材養成目的	研究者養成の第一段階として、障害科学の科学的・実践的な研究を推進しうる研究基礎力をもった研究者、または科学的な基盤を有し、実践の場での確に能力を発揮する、国内外のリーダーとなりうる有能な特別支援教育の教員や障害者支援の高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	障害科学の基礎的、実践的な知識技能に基づいて、障害の本質の解明、また障害特性の解明を通して支援技術の開発・応用に携わることができる人材。
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> ・博士後期課程に進学して、高等教育機関の教員あるいは独立行政法人等における研究者 ・特別支援学校や特別支援学級・通級指導教室の高度な専門性を有する教員 ・障害のある人を対象とした療育機関や福祉施設の高度な専門性を有する職員

■カウンセリング学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(カウンセリング) [Master of Science in Counseling]
人材養成目的	現職社会人・心理臨床専門家に対し、カウンセリングの包括的・基盤教育を行い、国際的・学際的な研究の成果と方法論を習得し、他職種と連携して職場や社会での諸問題について科学的・実践的・開発的に解決して社会に貢献する高度専門職業人や大学教員を養成する。
養成する人材像	カウンセリングに関連する総合的な学識・技法を身につけ、倫理的な配慮の下に実践や研究を立案・実施する能力を持ち、直面している問題を総合的に検討し問題解決することができる、カウンセリングの総合的な能力及び研究分析能力を有する人材を養成する。
修了後の進路	本学位プログラムを修了した人材は、医療・教育・福祉・産業・司法等の領域において、カウンセリング関連の総合的な力を発揮し、支援対象者や職場等の精神的な健康に資する取り組みを行うことのできる指導的な立場として活躍する人材を養成する。また、博士後期課程へ進学し、更に研究を深め、教育や研究に携わる人材を養成する。

■リハビリテーション科学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(リハビリテーション科学) [Master of Science in Rehabilitation]
人材養成目的	リハビリテーション関係の研究者、専門職業人に対して、リハビリテーションの包括的基盤教育を行うとともに、国際的・学際的な研究の成果と方法論を習得し、他職種と連携して、職場や社会での諸課題について、科学的・実践的・開発的に解決し、社会に貢献する高度専門職業人や大学教員(研究者)を養成する。
養成する人材像	本学位プログラムにおいては、現職社会人が職場において遭遇し、かつ早急にその解決が求められている諸問題について、広い視野での対応と発展に必要な、総合的・包括的リハビリテーションに関する総合的な能力を有する人材を養成する。とくに、総合的・包括的リハビリテーション領域の中でも現場的課題の科学的解決に関わる実践的な研究能力・開発能力の高い高度専門職業人や大学教員などを養成する。
修了後の進路	社会人大学院生を対象にすることから、現職場(医療・保健機関、福祉・相談施設、学校関係(特別支援学校や特別支援学級を含む)、リハビリテーション従事者養成機関、職業センターや障害者を雇用する企業、法律・行政機関など)において国内・国外のリハビリテーションの指導者の立場で活躍することを目的とする。さらに、修了後、博士課程に進学し、大学や専門学校等に転じて教育・研究分野で活躍することもあわせて目的とする。

■フロンティア医科学学位プログラム（修士課程）

授与する学位の名称	修士(医科学) [Master of Science in Medical Sciences]
人材養成目的	フロンティア医科学は、基礎医学、臨床医学、医学物理学、橋渡し研究、レギュラトリーサイエンスなど、幅広い領域をカバーする学際的な分野である。本プログラムでは、医科学の包括的基盤教育をベースに、社会的ニーズに対応した実践的で幅広い医科学関連領域の教育・研究を行い、研究者・大学教員あるいは高度専門職業人として安心して健康な社会の実現と維持のために活躍する人材を養成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・医科学全般の基盤的知識と専門領域の深い学識と研究能力をもって大学等の教育研究機関において医科学分野での研究の推進や新分野の開拓に貢献し得る人材 ・医科学全般の基礎的知識と社会ニーズに合わせた専門領域の知識をもって医療に関係する企業等において研究開発や医療関連業務に携わる人材 ・医科学全般の基礎的知識と専門領域の実践的な知識をもって医療機関等において医療の安全や健康増進に資することができる人材
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> ・博士課程への進学 ・大学、研究所及び公的機関での教育及び研究職 ・製薬、食品、医療機器等を含む企業への就職 ・病院を中心とした医療施設での専門職(医学物理士、放射線治療品質管理士など) ・福祉関係の施設での専門職 ・医薬品・医療機器などの臨床開発職(プロジェクトマネージャー、モニター、CRC など)

■公衆衛生学学位プログラム（修士課程）

授与する学位の名称	修士(公衆衛生学) [Master of Public Health]
人材養成目的	疫学、生物統計学、医療政策学、環境保健学、健康行動科学の5つのコアを中心としたパブリックヘルスの専門性を高めるための知識や技能の修得を目指す。また、関連領域の授業履修も積極的に推奨し、学際性の向上も目指す。 グローバルに活躍できる人材育成のために、すべての基礎科目・必修科目を英語で開講して留学生とともに学ぶ環境を整備している。
養成する人材像	保健医療政策立案者、保健・医薬行政実務者、疫学専門家、生物統計専門家、地域医療実務家、医療安全管理専門家、健康教育やヘルスプロモーションの専門家、その他公衆衛生の専門的技術を身に着けた実務家を育成する。
修了後の進路	これまで働いていた保健医療機関に復職する社会人をはじめ、本学位修得後、他職種から保健医療専門家としてキャリアアップして転職する。さらに専門性を高めるために進学する。

■ニューロサイエンス学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(神経科学) [Master of Neuroscience]
人材養成目的	社会の様々な現場において、神経科学の専門性を活かして活躍できる人材を養成する。また、後期課程での研究者養成教育に繋がる神経科学の広範な学術的基盤を修得した人材を養成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・正常および障害のある脳機能についての基礎知識と解析技術の学術基盤をもとに、基礎・応用研究を推進できる人材 ・神経科学分野の広範な領域の学際的見識をもとに、現代社会が抱える様々な心や行動の問題の解決に寄与できる人材 ・神経科学の学識を基盤に国内外の社会の現場での複合的問題の解決に応用する能力を持った人材
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューロサイエンス学位プログラム博士後期課程への進学 ・心理学、障害科学、生命科学などの隣接諸領域の学位プログラム博士後期課程への進学 ・産官の現場での一般職、専門職 ・国内・外の高等教育機関の教員や障害科学領域の専門職

■看護科学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(看護科学) [Master of Science in Nursing]
人材養成目的	少子高齢化が進むわが国では、複数の疾病や障がいを抱える患者の、長期にわたる複雑な健康問題によって医療の需要が増大かつ多様化している。本学位プログラムは、看護科学における科学的根拠に基づいてこのような課題の解決に貢献できるような、幅広く深い学識をもつ研究者等の養成の一段階であるとともに、専門看護師や助産師などの高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	学際的及び国際的な視点を持ち、確かな倫理観と科学的根拠に基づいて看護を探究し、研究者として研鑽する姿勢を持った人材。また、看護研究・実践の基礎になる専門知識・技術・実践能力を備えた看護職者及び看護学教育を支える看護学教育者となりうる人材。
修了後の進路	大学における看護学教育者・看護学研究者、医療機関における専門看護師・助産師、等

■体育学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(体育学) [Master of Physical Education, Health and Sport Sciences]
人材養成目的	本学位プログラムは、体育・スポーツ・健康・コーチングなどをキーワードとし、人間の身体と運動、その文化や環境、さらに心身の調整に関わる諸問題に対して学際的に取り組み、世界に類を見ない規模を誇る専門分野・領域を有する教育研究機関を基盤に展開され、自立・自律して研究活動を行うに必要な能力及びその基盤となる豊かな学識を培うことで、グローバル時代のトップランナーたる高度職業人を、また諸科学の深化を志向する研究者としての基礎を身につけた人材を養成する。加えて、各競技種目で国を牽引する監督・コーチなどの指導的役割に付くことが期待される人材、および大学等の教育機関においてコーチ教育を先導していく人材を養成する。
養成する人材像	運動文化とグローバル社会、健康増進と活力向上、身体運動のメカニズムと競技力向上など、体育・スポーツ・健康にかかわる本質論を踏まえて展開する体育学を体系的に理解し、幅広い視野と専門的な知識・技能を持って現場で生起する諸問題を解決できる高度な実践力を有する専門職業人、創造的で高度な研究能力を有する研究者としての基礎を身につけた枢要な人材、加えて、各競技種目で国を牽引する監督・コーチなどの指導的役割に付くことが期待される人材、及び大学等の教育機関において国のコーチ教育を先導していく人材。
修了後の進路	博士後期課程進学、教員(大学、高校、中学校)、公務員(国、地方)、健康関連企業(総合職、専門職)、スポーツ関連企業(総合職、専門職)、報道・出版・メディア関連企業(スポーツジャーナリスト)、プロ選手、プロコーチ、トレーナー、競技団体職員など。

■スポーツ・オリンピック学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(スポーツ・オリンピック学) [Master of Arts in Sport and Olympic Studies]
人材養成目的	これからの国際的スポーツ分野において必要とされる、高いマネジメント能力とスポーツのインテグリティ(高潔さ)を追究することができる人材養成を目的とする。国際オリンピック委員会、また国際競技連盟とも連携して今後求められるスポーツ人材の養成に当たる。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀のスポーツ界で必要とされる先端的な知識を総合的に学び、高いマネジメント能力を活かして、社会におけるスポーツの価値を創造し、世界各地でリーダーシップを発揮できる人材 ・IOC、IPC、JOC、JPC、JSC、JADAなどと連携し、スポーツのインテグリティを踏まえたオリンピック・パラリンピック教育と最先端のスポーツ科学を学び、それぞれの現場に応用できるマネジメント力を習得した人材
修了後の進路	各国スポーツ庁、各国オリンピック委員会・パラリンピック委員会、IOCやIPC、国際競技連盟などのスポーツ組織や大会組織委員会、グローバルスポーツ関連企業など

■スポーツウエルネス学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(スポーツウエルネス学) [Master of Sport and Wellness Promotion]
人材養成目的	スポーツウエルネスの推進に携わってきた実務経験を基盤として、両者の相乗的な推進効果を生み出す理念と方法を理解し、そのための基本政策や戦略を企画・立案・分析する能力、必要な資源を査定しシステム化する能力、高度なシステムを適切にマネジメントする能力、合理的なプログラムを開発する能力等を有した実践的な高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	スポーツ団体、行政、企業等の専門家集団の中でリーダーシップを発揮しスポーツウエルネスの一層の発展に寄与する人材
修了後の進路	競技団体、国立センター、地方自治体、教員、スポーツウエルネス関連企業、博士後期課程への進学等

■芸術学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(芸術学) [Master of Science in Art]
人材養成目的	幅広い視野で造形芸術に関わる理論・実技の専門研究を行い、高度な技能と実際的な応用能力・企画力によって、今日の造形芸術の多様な展開に対応し、グローバル化した社会において指導的役割を果たすことのできる高度専門職業人・研究者を育成する。
養成する人材像	造形芸術に関する基礎的な知識・技能と高い関心を持ち合わせ、現代社会の芸術に対する多様化し高度化した要求に応え、様々な課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲的な人材
修了後の進路	筑波大学大学院芸術学学位プログラム(博士後期課程)等への進学、中学・高等学校等の教員、美術館・博物館学芸員、行政機関や企業の研究者等。画家、版画家、彫刻家、書家、工芸家、陶芸家、漆芸家、造形作家、写真家、建築家、デザイナー、イラストレーター、映像作家、評論家等の造形芸術における創造的表現能力を有する高度専門職業人および研究者。

■デザイン学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(デザイン学) [Master of Design]
人材養成目的	人のこころをより良い状態にする製品や環境を生み出す実践的な力を修得し、人と人のつながりを作り明るく充実したものとす社会システムの創造を目指し、豊かで建設的な地域や社会を育み維持再生するための創造力を活用できる、国際的トップリーダーの資質を持った高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	横断的・実践的かつ国際的な学修を实践し、地域や文化の壁を越えた問題解決策を提案する意欲と、成果を生み出す粘り強さを持ち、目利き力(課題抽出能力)、突破力(計画立案能力、論理的説得力)および専門力に裏付けられた任務完結力を備えた人材。
修了後の進路	デザイナー、建築家、企業などにおける企画開発者、エンタテインメント産業のデザイナー・アーティスト、デザイン理論や実践を行う研究機関の研究者、デザインコンサルタント、博士後期課程への進学等

■世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(世界遺産学) [Master of Heritage Studies]
人材養成目的	世界の文化遺産・自然遺産が直面する問題の所在を政治・経済・社会・自然環境など様々な側面から総合的に把握し、その保護のための課題を解決する理論・技術を習得し、世界遺産条約に基づく世界遺産はもとより、広く国内外の文化遺産・自然遺産の保護に貢献できる高度専門職業人を育成する。
養成する人材像	文化遺産・自然遺産の保護と評価のための理論、文化遺産・自然遺産の管理・修復のための技術、文化遺産・自然遺産が直面している問題の所在を総合的に把握し、国際社会が目指す目標との関係において課題を的確に設定し、解決できる能力を有し、文化・自然遺産の保護のため、一般社会の広範な領域にまたがる関係者と自在に交渉することができるコミュニケーション能力を持つ人材を育成する。
修了後の進路	博士後期課程への進学。国や地方公共団体の職員、研究員等。文化遺産保護・国際協力分野の公的機関やコンサルタント関連企業及びマスコミ各社等の職員、研究員 ほか。

■医学学位プログラム（医学を履修する博士課程）

授与する学位の名称	博士(医学) [Doctor of Philosophy in Medical Sciences]
人材養成目的	発生、出生、成長・発達、加齢、老化、死という人間のたどるプロセスの中で生じるあらゆる生命現象の根本的理解、あるいは、その過程で人間が経験する疾病の克服に向けた病態解析や予防・診断・治療の研究・開発、それらの社会への還元に貢献できる人材を養成する。
養成する人材像	あらゆる生命科学研究手法を駆使して、ヒトの生命現象の解明を目指す人材、ゲノム、分子、細胞からヒト個体、人類集団およびそれをとりまく環境を対象とする研究により、疾患の病態を解明し、疾患の予防、診断、治療の開発に貢献することを目指す人材、医学知識を駆使し、質の高い臨床研究、技術開発、社会医学研究を科学的な手法で実践することで、医療や公衆衛生の向上に貢献することを目指す人材を養成する。
修了後の進路	大学教員(医学系、生命科学系など)、大学・公的研究機関における研究員、医療機関における医療専門職、企業(製薬、食品、化粧品等)における研究開発職、医療・保健福祉行政関連職、国際保健機関職員など。

■情報学学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(情報学) [Master of Science in Informatics]
人材養成目的	人間の活動において情報は重要な役割を果たして来たが、近年の技術の進展とともにその重要性は急激に増している。その様な状況に対応するため情報学学位プログラム(博士前期課程)では、文理融合の学際的アプローチにより情報を学術・教育・生活・文化等に活用するための専門的業務に携わる人材を養成する。
養成する人材像	人間と情報に関わる諸問題を理解し、専門知識・技術を身につけ、課題を遂行できる人材 ・最新の情報技術を駆使してデータ解析、システム開発、メディア制作を行うことができる人材 ・人間と情報の相互作用をふまえたコミュニティに最適な情報環境を提案できる人材 ・歴史と文化の多様性を理解し、知識情報資源の共有と継承を担うことができる人材
修了後の進路	博士後期課程進学者、研究者、大学教員 データサイエンティスト、IT・メディア系エンジニア、コンサルタント等の情報専門職、図書館・博物館・アーカイブズ等における専門的業務従事者

■ヒューマンバイオロジー学位プログラム（5年一貫制博士課程）

授与する学位の名称	博士(人間生物学) [Doctor of Philosophy in Human Biology]
人材養成目的	ヒトの生命の維持、適応及び継承のメカニズムを理解し、ヒトの健康に関する地球規模課題の解決に貢献できる複合的専門力と高度な研究能力を修得し、ヒトが人らしく生きる社会の創造を先導できる国際的トップリーダーの資質を持った研究者及び高度専門職業人を育成する。
養成する人材像	本プログラムを修了した博士人材は、地球規模課題の解決のための国際的合意を形成する為の目利き力(課題抽出能力)、突破力(計画立案能力、論理的説得力)及び任務完結力を備え、産業界・科学行政機関で地球規模課題について国際的に実現可能な解決を先導する人材、問題解決に必要な新業種の起業を推進できる人材、さらには、大学運営に待望されている研究/教育/国際コーディネーター人材となる。
修了後の進路	本プログラムを修了した博士人材は、産業界はもとより、行政機関などでも地球規模課題について国際的に整合性のある解決を先導し、また、新業種の起業を推進できる人材が育成される。 さらには、大学運営に待望されている研究/教育/国際コーディネーターの資源となる。

■ライフイノベーション（病態機構）学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(病態機構学) [Master of Disease Mechanism]
人材養成目的	ライフイノベーション学位プログラムでは、分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度な専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野でグローバルに活躍する高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	少子高齢化を迎える日本において、病態機構を解明することは急務の課題である。疾患の革新的な治療法の開発だけでなく、世界に先駆けて少子高齢化社会問題の解決策を創出することによる経済の活性化も期待されている。病態機構領域では、「研究成果の社会への還元を念頭において、生命医科学分野での革新的な知の開拓を行う優れた基礎医学研究者を目指すための博士論文研究基礎力を有する者、および幅広い知識を持って医療分野で多様に活躍する高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	企業や研究機関が本学位プログラム教育に携わる事により、社会が求める人材を育成することが可能となり、より即戦力をもつ人材として、本プログラム修了者の社会的需要は高まると期待される。生命医科学的知識、実験技術、研究マネジメントスキルを基盤として、「課題解決能力」を有し、難治性疾患の革新的な治療法の開発を目指す人材として、ライフサイエンス系、製薬系企業の研究者、技術者、コンサルタント、治験コーディネーター、イノベーションを創出する新業種の起業家、関連する官公庁職員として活躍する事が期待される。

■ライフイノベーション（創薬開発）学位プログラム（博士前期課程）

授与する学位の名称	修士(医科学) [Master of Medical Science]
人材養成目的	ライフイノベーション学位プログラムでは、分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度な専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野でグローバルに活躍する高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	社会情勢に応じたアンメットメディカルニーズを解消するような革新的な医薬品が求められている。創薬開発領域では、「時代に応じた医療ニーズの動向を把握し、レギュラトリーサイエンス、有機化学、創薬化学、薬理学を通じて、薬品をデザインする能力、薬品の効果を検証する能力を修得し、革新的な医薬品の創出へ寄与できる研究者を目指すための博士論文研究基礎力を有する者および高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	企業や研究機関が本学位プログラム教育に携わる事により、社会が求める人材を育成することが可能となり、より即戦力をもつ人材として、本プログラム修了者の社会的需要は高まると期待される。創薬開発に関する知識、実験技術、研究マネジメントスキルを基盤として、「課題解決能力」を有し、アンメットメディカルニーズを解消する革新的な医薬品開発を目指したライフサイエンス系、製薬系企業の研究者、技術者、コンサルタント、研究コーディネーター、イノベーションを創出する新業種の起業家、関連する官公庁職員として活躍する事が期待される。

■教育学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(教育学) [Doctor of Philosophy in Education]
人材養成目的	社会の急激な変化のもと対応を迫られる教育の具体的課題と、地球的視野をもって解決されるべき教育の本質的課題のそれぞれについて、教育学の幅広い学問的知見を基盤としての確な研究方法をもって追究し、独創的な研究成果を国内外に向けて発信し、政策と実践の改革を国際的に先導することのできる教育学研究者ならびに高度専門職業人を養成することを目的とする。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・修了者は、国内外の教育系大学・学部・教育研究機関で教育学の教育研究に従事するとともに、各専門分野の学会活動をリードすることのできる人材である。また、国際学会や国際機関等において教育学研究の最新成果について積極的に発信し研究交流することができる人材である。 ・研究実績を生かして国内および海外における国・地方自治体・関係組織等の教育政策の策定・実施および学校教職員・教育行政・民間組織等の職能開発に対して貢献できる人材である。
修了後の進路	修了後の進路は、国内外の教育系大学・学部および教育研究機関の研究者、国際的な機関における教育学研究者、開発途上国等における国際協力の場で日本の教育経験及び教育学の知見に基づいて貢献する者、あるいは民間組織のリーダーとしての高度専門職業人等である。

■心理学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(心理学) [Doctor of Philosophy in Psychology]
人材養成目的	心理学とは、人間理解の要として、心とは何かを問い、心のはたらきを明らかにする学問領域であり、そのために人間が外界からの情報を取り入れ、理解し、最終的に適切な行動を取るにいたる過程を現象的に、機能的に、また、それを支える脳の機能にまでさかのぼって明らかにすることを目的とする学問領域である。こうした心理学領域全体の知識・方法論・技能・価値観を身に着け、その上で、社会科学諸領域を初めとする隣接諸領域、学際研究として展開可能な複合領域との多様かつ密接な関係性を持ち、人間研究の専門家として社会に貢献できる人材、すなわち、確固たる基礎、幅広い視野と問題意識、さらに問題解決と情報発信力を持つ心理学領域研究者たる人材を養成する。
養成する人材像	心理学領域の専門的研究職として確固たる視点を獲得した上で、人間を総体として客観的に理解する能力、心の多様性と普遍性を理解する能力、人間と環境との交互作用を理解する能力を基に、人間に関する専門研究者として、問題発見、問題解決、情報発信など社会貢献する能力を持つ人材。中でも、心理基礎科学サブプログラムでは、心理学領域全体の広い視野を持ちつつ、深く心理学の方法論や知識・技能を体得し、心理学の基礎研究の成果および方法論等を広く社会に還元し、社会貢献ができる人材として、大学教員、研究者および 高度専門職業人の育成を目的とする。また心理臨床学サブプログラムでは、総合的・多面的に心理臨床学を研究し創造的に発展させる能力と実践的に応用するための技術を兼ね備えた大学教員、研究者および 高度専門職業人の育成を目的とする。
修了後の進路	心理学を基礎とする研究職。具体的には、博士特別研究員、特任助教・助教、他大学の研究推進員、科学警察研究所など公的研究機関、民間研究所のほか、民間企業研究所研究員の研究員 ほか

■障害科学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(障害科学) [Doctor of Philosophy in Disability Sciences]
人材養成目的	障害に関連する多様な課題に即した先進的研究を行うとともに、グローバルな視点に立った障害科学関連分野における先導的教育を行うことのできる研究者等を養成する。
養成する人材像	障害のある人に関連する諸問題に対して、科学的な視点から、専門的な問題解決が可能な人材。具体的には、障害に関して幅広い知識を有し問題解決に寄与することができると共に、現実場面での問題の中から研究課題を見出すことができ、その課題を解決するための研究計画ならびにその実行を、協力者と共に推進することが可能な人材。
修了後の進路	高等教育機関の教員あるいは独立行政法人等における研究者

■ カウンセリング科学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(カウンセリング科学) [Doctor of Philosophy in Counseling Science]
人材養成目的	カウンセリング関係の研究者、専門職業人に対して、カウンセリングの包括的基盤教育を行うとともに、国際的・学際的な研究の成果と方法論を習得し、他職種と連携して、職場や社会での諸課題について、科学的・実践的・開発的に解決し、社会に貢献する高度専門職業人や大学教員(研究者)を養成する。
養成する人材像	カウンセリング科学の分野において独創的で優れたテーマの設定を行い、適切な手法で体系だった論理構造を持つ論文を作成でき、当該学術分野において高い学術的評価が得られるとともに、その成果が社会において応用され、社会貢献に資する研究を行える人材を育成する。
修了後の進路	本プログラム在学中の人は大学教員や研究職として教育・研究分野で活躍している人も多い。本プログラム修了後の博士人材は、大学教員や研究職として教育・研究分野に転じる人も少なくないが、大学院生としての在籍時の職場において指導的立場で活躍する人も多い。例えば、企業や学校教育関係(特別支援教育を含む)、心理関連領域、医療・保健機関、社会福祉施設・教育施設、心理・リハビリテーション専門職養成校、職業支援センターや障がい者雇用企業、官公庁・行政機関などで、高度専門職職業人としてのキャリアを展開している。

■ リハビリテーション科学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(リハビリテーション科学) [Doctor of Philosophy in Rehabilitation Science]
人材養成目的	リハビリテーション関係の研究者、専門職業人に対して、リハビリテーションの包括的基盤教育を行うとともに、国際的・学際的な研究の成果と方法論を習得し、他職種と連携して、職場や社会での諸課題について、科学的・実践的・開発的に解決し、社会に貢献する学際的な高度専門職業人や大学教員(研究者)を養成する。
養成する人材像	現職社会人が職場において遭遇し、かつ早急にその解決が求められている諸問題について、広い視野での対応と発展に必要な、総合的・包括的リハビリテーションに関する総合的な能力を有する人材を養成する。とくに、総合的・包括的リハビリテーション領域の中でも現場的課題の科学的解決に関わる実践的な研究能力・開発能力の高い高度専門職業人や大学教員などを養成する。
修了後の進路	本プログラム在学中の人は大学教員や研究職として教育・研究分野で活躍している人も多い。本プログラム修了後の博士人材は、大学教員や研究職として教育・研究分野に転じる人も少なくないが、職場において指導的立場で活躍する人も多い。医療・保健機関、社会福祉施設、学校教育関係などで、高度専門職職業人として活躍することが期待できる。

■ ヒューマン・ケア科学学位プログラム（3年制博士課程）

授与する学位の名称	博士(ヒューマン・ケア科学) [Doctor of Philosophy in Human Care Science]
人材養成目的	教育学、心理学、福祉学、医学、看護学、保健学、等の専門領域の学問融合の観点から総合的・学際的にヒューマン・ケア、人支援に関する課題を解明し、創造的に発展させる能力、実践的応用力を備えた大学教員、研究者、高度専門職業人教育者を養成する。
養成する人材像	人々の抱える問題・課題に関する高度専門的知識を備え、課題解明に関する研究能力と技術、人へのケアと支援に関する方法・技術、その指導に関する高度専門的知識と技術を身につけた人材
修了後の進路	国内外の大学および研究機関のヒューマン・ケア科学関連諸科学領域における専門教育研究者、国際機関の研究者、支援に関わる専門機関の指導者・実践者

■パブリックヘルス学位プログラム（3年制博士課程）

授与する学位の名称	博士(公衆衛生学) [Doctor of Philosophy in Public Health]
人材養成目的	超少子高齢社会や地球規模で直面する多様な健康問題の解決にむけて、公衆衛生学の専門知識および関連領域の学際横断的知識と研究能力を備えた高度な公衆衛生学専門家を養成する。
養成する人材像	公衆衛生に関する高度専門知識と学際的知識および研究教育能力を十分に兼ね備えた人材、公衆衛生行政や地域・学校・職域・国際保健の向上に貢献する人材
修了後の進路	国内外の大学および研究機関の専門教育研究者、保健医療福祉行政官、保健医療機関の専門管理職

■ニューロサイエンス学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(神経科学) [Doctor of Philosophy in Neuroscience]
人材養成目的	脳の働きに関する広範な学術的基盤を有し、高次脳機能としての人の心の理解に貢献できる神経科学の専門家として、研究者、高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・正常および障害のある脳機能についての最高度の専門知識と解析技術を備え、基礎・応用研究を推進できる人材 ・神経科学分野の広範な領域の専門的および学際的見識をもとに、現代社会が抱える様々な心や行動の課題に敏感かつ真摯に向き合い解決に寄与できる人材 ・国内外の教育・研究機関において、人材育成や学際的研究を牽引できる人材 ・研究者倫理に基づき、神経科学分野のプロフェッショナルとしての行動する意識、自己管理能力、人間力を持った人材
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学、研究機関、企業研究所の研究者 ・国内外の高等教育機関の教員および障害科学領域の専門職

■スポーツ医学学位プログラム（3年制博士課程）

授与する学位の名称	博士(スポーツ医学) [Doctor of Philosophy in Sports Medicine]
人材養成目的	<p>スポーツ医学に以下の観点から貢献でき、国際的にも通用する研究者や高度専門職業人及びこれらの人材を育てることのできる大学教員を養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツにおいて、科学的な見地から競技者の競技力向上に貢献できる人材。 ・生活習慣病や老化の予防を科学的見地から評価し、健康の維持・増進や疾病の予防・改善に貢献できる人材。
養成する人材像	スポーツと健康、競技者の競技力向上、外傷と障害及び疾病の予防に関する基礎知識を有し、これを基盤としてスポーツ医学に関する研究能力を高めようとする意欲を持ち、競技スポーツ支援や健康スポーツなど各種の関連領域で活躍できる人材。
修了後の進路	大学教員に加えて、行政機関や産業界において、スポーツ振興をグローバルな視点で推進する研究者や指導者

■看護科学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(看護科学) [Doctor of Philosophy in Nursing]
人材養成目的	さまざま文化的背景を持つ人々の多様な医療ニーズに創造力をもって科学的にかつ柔軟に応えることが可能な医療の専門家が求められている。本学位プログラムでは、学際的および国際的な視点に基づき、看護学の高度専門職者、教育者、研究者、政策・行政分野の看護・医療の専門家として専門的知識、技術を有するに留まらず、常に研究マインドを持って看護実践を検証していくことのできる人材を養成する。さらに、看護の専門領域だけではなく、「学際性」と「科学性」に基づく新しい看護の技術や教育・研究方法を開発できる人材を養成する。
養成する人材像	次代に向けて必要となる新たな知識の創造と技術開発の基礎となる教育・研究方法について体系化できる力を備えた教育者、研究者、実践と理論の架け橋となる高度専門職者となりうる人材。
修了後の進路	大学等の高等教育機関における教育者、研究者、看護・医療の管理・政策・行政に貢献する高度専門職者等

■体育科学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(体育科学) [Doctor of Philosophy in Health and Sport Sciences]
人材養成目的	体育・スポーツ・健康科学分野に関連する現代社会の課題解決への貢献をめざし、卓越した研究・教育活動を行うために必要とされる高度な能力及びその基盤となる豊かな学識や実践力を持ち、グローバルな視点にたってリーダーシップを発揮できる人材を養成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・体育・スポーツ・健康科学等の分野において高度専門的知識を持ち、教育研究機関において、国内外の教育・研究機関における教員や研究員 ・体育・スポーツ・健康科学等の分野においてリーダーシップを発揮し、行政機関やスポーツ競技団体において将来計画を立案・実行できる人材 ・最先端の研究技法を駆使して、グローバルなレベルで問題解決できる能力を持つ研究者 ・俯瞰的な視野と柔軟な思考力を有し、様々な領域の人材とチームを組んで課題を解決する能力を持つ研究コーディネーター
修了後の進路	体育・スポーツ・健康科学研究におけるリーダーとして、国内外の国公立大学等の教育研究機関の教員・研究員、企業および公的研究機関における研究員、行政機関やスポーツ競技団体の主要な役職員。

■コーチング学学位プログラム（3年制博士課程）

授与する学位の名称	博士(コーチング学) [Doctor of Philosophy in Coaching Science]
人材養成目的	国際的な視野と高い倫理観を備え、コーチング領域における高度な研究能力とコーチング実践力を養うことで、コーチング学に関する研究および教育を先導できる研究者、大学教員および高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	グローバル化している現代社会において、創造的な知性と豊かな人間性を備え、コーチングにおける複合的な課題を実践現場と協働して解決できる人材。
修了後の進路	体育・スポーツに関する専門の学部および学科を有する大学・短大、一般体育の授業を行っている大学・短大、各種競技団体やスポーツ組織等。

■スポーツウエルネス学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(スポーツウエルネス学) [Doctor of Sport and Wellness Promotion]
人材養成目的	すでにスポーツまたはウエルネス領域で活躍する修士号取得者に対し、更なる研究・分析能力を養い、本領域における課題解決能力として国内外における交渉力や高度な実践的マネジメント能力を育成する。すなわち博士レベルの高度な研究力を保有した上で、イノベーションが必要な難度の高い課題解決のための政策力・プロジェクト実行力・マネジメント力を併せ持つ高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	国内外において、スポーツウエルネス領域における難度の高い課題を解決するためのプロジェクトを上手くマネジメントし、一定の成果を出せる人材。
修了後の進路	政府各機関、関連シンクタンク、競技団体、地方自治体、企業、健康・医療系団体、NPO等をはじめスポーツウエルネス関連組織または団体の幹部もしくは幹部候補生。

■芸術学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(芸術学) [Doctor of Philosophy in Art]
人材養成目的	造形芸術に関する創造的な研究能力を有し、卓越した専門的知識と実技能力によって、公的機関および企業等、社会の様々な領域に貢献しうる研究者、および、確固たる教育能力と研究能力を有する大学教員を養成する。
養成する人材像	造形芸術に関する幅広い学識と高度の研究・開発能力および実技能力によって、政府、地方自治体等の行政、教育機関、企業等、社会の様々な方面において、研究、教育の指導的役割を担う人材
修了後の進路	大学教員、美術館・博物館学芸員、行政機関や企業等の研究者。その他、画家、版画家、彫刻家、書家、造形作家、写真家、建築家、デザイナー、イラストレーター、映像作家、評論家等の、美術およびデザインにおける創造的表現能力を有する自立した研究者

■デザイン学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(デザイン学) [Doctor of Philosophy in Design]
人材養成目的	人のところをより良い状態にする製品や環境を生み出す実践的な力を修得し、人と人のつながりを作り明るく充実したものとする社会システムの創造を目指し、豊かで建設的な地域や社会を育み維持再生するための創造力を活用できる、国際的トップリーダーの資質を持ち、産業界や行政など多様な研究・教育機関の中核を担う研究者を養成する。
養成する人材像	横断的・実践的かつ国際的な学修を実践し、地域や文化の壁を越えた問題解決策を提案する意欲と、成果を生み出す粘り強さを持ち、目利き力(課題抽出能力)、突破力(計画立案能力、論理的説得力)および専門的研究を遂行する任務完結力を備えた人材。
修了後の進路	産業界や大学等の研究組織における研究者、デザイン、建築にかかわる企画開発者、エンタテインメント産業のデザイナー・アーティスト、デザインコンサルタント等

■世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(世界遺産学) [Doctor of Philosophy in Heritage Studies]
人材養成目的	世界の文化遺産・自然遺産の社会的・国際的役割を、地球環境と人間社会の持続可能性の達成を目的とする国際社会のアジェンダ、国際ガバナンスとの関係のもとに総合的に理解し、遺産が直面する問題の所在を政治・経済・社会・自然的要因に関連付けて分析し、その解決のための理論・技術を研究する高い能力を有する世界遺産学の研究者・大学教員、世界のトップリーダーとなる高度専門職業人を育成する。
養成する人材像	世界の文化遺産・自然遺産の保護において、世界に貢献するという明確な意思及び態度、倫理観、国際社会、特に国際機関における議論の場で通用するコミュニケーション能力・交渉力、国際社会におけるニーズを的確に把握して課題を解決する能力、世界の文化遺産・自然遺産を次世代に伝えていくことができる世界遺産学の研究者・教育者としての能力を持った人材を育成する。
修了後の進路	大学等教育機関の教員、研究者及び国や地方公共団体の職員、研究員等。文化遺産保護・国際協力分野の公的機関やコンサルタント関連企業等の職員、研究員 ほか。

■情報学学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(情報学) [Doctor of Philosophy in Informatics]
人材養成目的	人間の活動において情報は重要な役割を果たして来たが、近年の技術の進展とともにその重要性は急激に増している。その様な状況に対応するため情報学学位プログラム(博士後期課程)では、文理融合の学際的アプローチにより情報を学術・教育・生活・文化等に活用するための研究に携わる人材を養成する。
養成する人材像	人間と情報に関わる諸問題を俯瞰し、専門知識・技術に基づいて研究課題を設定し、それを遂行できる人材
修了後の進路	研究者、大学教員、データサイエンティスト、IT・メディア系エンジニア、コンサルタント等の上級情報専門職、図書館・博物館・アーカイブズ等における高度な研究開発業務従事者

■ライフイノベーション（病態機構）学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(病態機構学) [Doctor of Philosophy in Disease Mechanism]
人材養成目的	分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野で、国際的に評価の高い研究成果を創出し、グローバルに活躍する高度専門職業人または研究者を養成する。
養成する人材像	博士後期課程では、博士前期課程で修得した知識や技術を用いて、「研究マネジメントを高めつつ、難治性疾患の革新的な治療につながるような国際的に評価の高い独創的な研究を行い、得られた研究成果を国際的に情報発信し、生命医科学分野において即戦力となる研究者および高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	生命医科学的知識、実験技術、研究マネジメントスキル、国際レベルの高い研究成果を基盤として、「課題解決能力」と「課題発見能力」を駆使し、難治性疾患の革新的な治療法の開発を目指す人材として、ライフサイエンス系、製薬系企業の研究者、独立行政法人研究所の研究員、コンサルタント、治験コーディネーター、イノベーションを創出する新業種の起業家、関連する官公庁職員として国際的に活躍する事が期待される。研究のグローバル化に伴い、海外との共同研究やコーディネートをする機会が今後さらに増加すると考えられ、博士課程修了者の需要は高まると考えられる。

■ライフィノベーション（創薬開発）学位プログラム（博士後期課程）

授与する学位の名称	博士(医科学) [Doctor of Philosophy in Medical Science]
人材養成目的	分野横断的かつ俯瞰的な考え方を修得し、世界トップクラスの高度で専門的研究能力を身に付け、バイオリソースを用いてライフサイエンス研究の新たな展開を切り開き、革新的医薬品・機能性食品の研究開発分野及びその保全と管理の分野で、国際的に評価の高い研究成果を創出し、グローバルに活躍する高度専門職業人または研究者を養成する。
養成する人材像	博士後期課程では、博士前期課程で修得した技術や知識を用いて、「研究マネジメント力を高めつつ、革新的な医薬品の開発につながるような国際的に評価の高い独創的な研究を行い、得られた研究成果を国際的に情報発信し、革新的創薬開発において即戦力となる研究者および高度専門職業人」を育成する。
修了後の進路	創薬開発に関する知識、実験技術、研究マネジメントスキル、国際レベルの高い研究成果を基盤として、「課題解決能力」と「課題発見能力」を有し、アンメットメディカルニーズを解消する革新的な医薬品開発を目指す人材として、ライフサイエンス系、製薬系企業の研究者、独立行政法人の研究者、コンサルタント、研究コーディネーター、イノベーションを創出する新業種の起業家、関連する官公庁職員として国際的に活躍する事が期待される。研究のグローバル化に伴い、海外との共同研究やコーディネートをする機会が今後さらに増加すると考えられ、博士課程修了者の需要は高まると考えられる。

【大学体育スポーツ高度化共同専攻】

■大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年制博士課程）

授与する学位の名称	博士(体育スポーツ学) [Doctor of Philosophy in Physical Education and Sport Studies]
人材養成目的	体育スポーツ現場の教育と研究の循環を効果的に行える、高等教育における学術的職業人としての高度な体育教員を養成する。
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none">・大学体育スポーツを先導する確かな専門的知識と実技教育能力を持つ人材。・大学体育スポーツ現場の実践知を探究し、その研究成果を教育へと循環させることができる実践的研究能力を持つ人材。・高等教育における体育スポーツ教育の質保証を先導する高度指導者に必要な教養を持つ人材。
修了後の進路	高等教育機関（大学・短大・高専）における体育教員、体育スポーツ関連機関の職員など

【スポーツ国際開発学共同専攻】

■スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）

授与する学位の名称	修士(スポーツ国際開発学) [Master of Arts in International Development and Peace through Sport]
人材養成目的	スポーツを通じて国内外の社会開発を担う人材、我が国の体育教育の制度と実践を理解し、諸外国に支援ができる人材、そして国際平和と友好、青少年教育を促進する国際機関で活躍できる人材を養成する。
養成する人材像	筑波大学大学院学則および鹿屋体育大学学則に規定する課程の目的を充足した上で、次の能力などを有することが最終試験において認定された者に修士(スポーツ国際開発学)の学位を授与する。 1. 国際情勢と政策及び地球規模課題に対する知識と分析力、使命感 2. グローバルな俯瞰力と実践現場で発揮できるリーダーシップ 3. スポーツ・体育・健康に関する基礎的知識と実践力 4. 国際貢献のためのコミュニケーション能力とマネジメント能力
修了後の進路	国際機関、国内外のスポーツ関連組織、国内外の開発支援組織、大学等の教育研究機関等、国内外 NGO、NPO 機関、国内外グローバル企業等

【国際連携食料健康科学専攻】

■国際連携食料健康科学専攻（修士課程）

授与する学位の名称	修士(食料健康科学) [Master of Agro-Biomedical Science in Food and Health]
人材養成目的	人類が地球規模で直面する健康の維持・増進や食料の安全供給等の課題に対して、「医食同源」の理念に基づき、食料が健康に及ぼす影響を科学的に理解し、グローバル社会のニーズと研究開発を橋渡しすることのできる専門力と実践力を備えた国際的な高度専門職業人を養成する。
養成する人材像	<p>次の知識・能力を備えた人材を養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リテラシー: 専門性に裏付けされた分野横断的な思考力、専門的知識・能力を活用する語学力 ・コーディネーション力: 海外フィールドにおける目利き力・企画力、多国籍間における対話・交渉力、異分野、異業種間でのマネジメント能力 ・実践力: アイデアを具体化・実行する実践力、プレゼンテーションや自己アピールなど表現力 ・健康と食資源を結びつける力: 生物資源の機能性、医学的利用に関する知識、食品由来の疾患や生理的障害に関する知識、食資源や医療にかかわる政策に関する知識 ・健康安全保障問題を捉える力: 食資源や医薬品を含めた化学物質の安全性を含む社会医学に関する知識 ・食料安全保障問題を捉える力: 生物資源の評価開発(安全性を含む)と持続的食料生産体系の利用に関する知識
修了後の進路	<ul style="list-style-type: none"> ・海外展開の強化を計画する食品・製薬会社等において、「食と健康」に関する新たな社会的ニーズを理解し、国内外の市場・事業所と研究開発現場の橋渡しをする国際コーディネーターや技術コーディネーター ・国際的に事業展開している食料・酒類・漢方薬等を取り扱う商社・流通会社において、食品安全性、食料安定供給、健康維持などの「食と健康」にかかわる社会的ニーズを医科学及び農学双方の視点で理解することができるマーケティング担当 ・農林水産省などの行政機関における食料の輸出入管理部門、植物防疫所、動物検疫所 ・上記業種に関連するシンクタンク・コンサルタント会社におけるアナリスト 等